

依那古・神戸小学校 新給食センター配送校給食室改修工事（令和2年春工事）設計図

伊 賀 市

| ＜図面リスト＞ | | | | | | | | | | | |
|---------|---------------|-------|--------|---------------|---------------|--------|--------------|-------|--------|--------------|-------|
| NUMBER | DRAWING | SCALE | NUMBER | DRAWING | SCALE | NUMBER | DRAWING | SCALE | NUMBER | DRAWING | SCALE |
| ＜建築主体＞ | | | A-10 | 給食室設備解体撤去図 | 1/50 | ＜電気＞ | | | ＜機械＞ | | |
| ＜共通＞ | | | A-11 | 仮設計計画図 | 1/150 | ＜共通＞ | | | ＜共通＞ | | |
| A-01 | 改修特記仕様書（1） | NS | ＜改修＞ | 【神戸小学校】 | 1/500 | E-01 | 電気設備工事 特記仕様書 | NS | M-01 | 機械設備工事 特記仕様書 | NS |
| A-02 | 改修特記仕様書（2） | NS | A-12 | 配置図 | 1/200 | ＜改修＞ | 【依那古小学校】 | | ＜改修＞ | 【依那古小学校】 | |
| A-03 | 改修特記仕様書（3） | NS | A-13 | 改修前・改修後平面図 | 1/50 | E-02 | 電気設備図 | 1/150 | M-02 | 空調設備図 | 1/100 |
| A-04 | 改修特記仕様書（4） | NS | A-14 | 給食室/配膳室 改修計画図 | 1/100 1/50 | ＜改修＞ | 【神戸小学校】 | | ＜改修＞ | 【神戸小学校】 | |
| A-05 | 改修特記仕様書（5） | NS | A-15 | 建具改修計画図 | 1/50 | E-03 | 電灯・自動火災報知設備図 | 1/100 | M-03 | 空調設備図 | 1/100 |
| A-06 | 解体特記仕様書 | NS | A-16 | 給食室設備解体撤去図 | 1/150 | E-04 | 動力設備図 | 1/150 | | | |
| ＜改修＞ | 【依那古小学校】 | | A-17 | 仮設計計画図 | | | | | | | |
| A-07 | 配置図 | 1/500 | | | | | | | | | |
| A-08 | 改修前・改修後平面図 | 1/200 | | | | | | | | | |
| A-09 | 給食室/配膳室 改修計画図 | 1/50 | | | | | | | | | |

SCALEはA2サイズ打ち出し時の縮尺
(A3サイズでの打ち出し時は71%縮小)

| 改修工事特記仕様書 | | | 7 交通安全管理 | 交通誘導員 ※配置する 1名以上(大型車両等の出入時) ・配置しない (1.3.8) | ⑭ 完成図等 | ○作成する ・作成しない (1.7.1~3)(表1.7.1) |
|---|------------|--|--|--|--------------|---|
| <p>1. 共通仕様 (1)図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(平成28年版)」(以下「標仕」という。)による。</p> <p>2. 特記仕様 (1)項目は、○印の付いたものを適用する。 (2)特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。 (3)特記事項に記載の()内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4)特記事項に記載の(別)は、(5.3.7)による別図「各部配筋」の当該項目を示す。</p> <p>1. 保険及び保証 ・建築工事保険 (保険証の写しを提出) ・請負業者賠償責任保険 (保険証の写しを提出) (・管理財物担保特約に加入のこと) ・法定外労災保証制度 (加入証明書の写しを提出)</p> <p>2. 建設共済等 ・建設業退職金共済制度 当初請負金額が500万円以上の場合は、掛金収納書を提出すること。また、増額の契約変更があった場合についても、その分を提出すること。共済証紙購入額 請負金額の1.7/1000以上 なお、他の退職金制度に加入している等、共済証紙を購入する必要がない場合は、理由書の提出をもって共済証紙の購入を不要とする</p> <p>※資材の購入及び下請け業者の選定に際しての留意事項 資材の購入及び工事の一部を下請け業者にて施工する場合、業者の選定に際しては、出来る限り市内業者を優先させること。 ・給食室内改修工事着手は給食が終了する令和2年3月14日以降とし、現場完了は</p> | | | <p>⑧ 建築材料等</p> <p>※本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 ・品質及び性能を試験により証明する材料は以下の物とする。 (1.4.5)</p> <p>⑨ 化学物質を発生する建築材料等</p> <p>本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。</p> <p>1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、パーティクルボード、MDF、その他木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗料は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発生が極めて少ないものとする。</p> <p>2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ないものとする。</p> <p>3) 接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエンキシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発生が極めて少ないものとする。</p> <p>4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発生が極めて少ないものとする。</p> <p>5) 1)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発生が極めて少ないものとする。また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。規制対象外</p> <p>①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a.非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b.接着剤等不使用 c.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d.ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用</p> <p>第三種 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのEo規格品 ④旧JASのFco規格品</p> | <p>⑭ 完成図等</p> <p>○作成する ・作成しない (1.7.1~3)(表1.7.1)</p> <p>種類 ※標仕 表1.7.1による ・各階平面図 ・配置図及び案内図 ・断面図 ・各立面図 ・施工図 ・仕上表 ・ ・施工計画書 ・</p> <p>※CADデータの提出 ※提出する ・提出しない ・安全に関する資料 提出部数 ※2部 ・</p> <p>⑮ 記録</p> <p>工事記録については下記による。(A4版) ※以下一式(工事写真の撮り方 建築編 に準拠する)</p> <p>※工事着工前 1部 ※工程写真 各工程毎 1部 ※竣工写真 ・手札版 ()部 ・カラーキャビネ版 ()部 ・専門家撮影、アルバム編集の上提出 ()部 ※工事の各記録写真については、デジタル画像にて整備編集を行うように努めること。 ・電子データとし、CD-Rにて提出 ()部 ・監督職員の指示による ※工事日報・納品伝票等の写しは、監督職員が提出を求めた場合は提出こと。</p> <p>⑯ 現況復旧</p> <p>工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げとも在来にならい補修する。</p> <p>⑰ 設備工事との取合い</p> <p>設備機器の位置、取り合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。 施工範囲 ・図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の型枠及びそれらの補強 ・図示した壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 ・駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ ・自動閉鎖装置取付け箇所切込み及び補強 ・</p> <p>⑱ 設計FL</p> <p>※図示のベンチマーク(B.M) mm(現状地盤はB.M mm) ※工事着手前に監督職員の確認を必ず行うこと。</p> <p>⑲ 社内検査報告書</p> <p>工事完成(部分完成を含む)時には、社内検査を実施し、その報告書を監督職員に提出する。</p> <p>20 完成引渡し後の点検</p> <p>・瑕疵期間は、別に定めた特約(責任施工による保証期間など)を除き、伊賀市工事請負契約書に準拠する。 ・工事完成引渡し後、必要に応じて一年又は二年を越えない範囲の適当な時期に、双方立ち会いで工事目的物の瑕疵点検を実施する。</p> <p>⑳ 随時検査</p> <p>発注者が随時検査を求めた場合、監督職員の指示に従い受検すること。</p> <p>㉑ 施工体制台帳の提出</p> <p>公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の定めにより、施工体制台帳の写しを提出すること。</p> | | |
| 章 | 項目 | 特記事項 | ⑩ 特別な材料の工法 | 標仕に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。 | ⑲ 社内検査報告書 | 工事完成(部分完成を含む)時には、社内検査を実施し、その報告書を監督職員に提出する。 |
| 1章 | ①適用基準等 | ※建築工事標準詳細図 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成31年版) ※工事写真の撮り方(平成28年版)建築編 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修) | 11 技能士 | ※適用する ・適用しない (1.5.2) ・鉄筋施工 ・型枠施工 ・鉄工 ・石材施工 ・ALCパネル施工 ※防水施工 ・タイル張り ・建築大工 ・建築板金 ・左官 ・塗装 ・建具製作 ・サッシ施工 ・内装仕上げ施工 ・造園 | ⑲ 社内検査報告書 | 工事完成(部分完成を含む)時には、社内検査を実施し、その報告書を監督職員に提出する。 |
| 一般共通事項 | ②工事実績情報の登録 | ※請負金額が500万円以上は登録の手続きを行うこと。 (1.1.4) | ⑫ 施工の立ち会い等 | 下記事項は監督職員の立会検査を受けなければならない。 (1.5.7) ・杭打作業中 ・鉄骨製品検査 ・鉄骨溶接、高力ボルト締め完了時 ・基礎及び各階コンクリート打設時 ・基礎及び各階配筋完了時 ・防水層の施工 ・組積の時 ・仕上検査(監督職員の指示による) | 20 完成引渡し後の点検 | ・瑕疵期間は、別に定めた特約(責任施工による保証期間など)を除き、伊賀市工事請負契約書に準拠する。 ・工事完成引渡し後、必要に応じて一年又は二年を越えない範囲の適当な時期に、双方立ち会いで工事目的物の瑕疵点検を実施する。 |
| | ③品質計画 | ※建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。 (1.2.2) 風速(Vo)=34 m毎秒 地表面粗度 ※Ⅲ(Zb=5 Zg=450 α=0.20) ・Ⅱ(Zb=5 Zg=350 α=0.15) 積雪区分 ・30 cm ○40 cm ・ | 13 化学物質の濃度測定 | 施行完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン (1.5.9) パラジクロロベンゼン、スチレンの濃度を測定し報告すること。 測定は、パンプ型採集機器により行う。 着工前測定 ・行う(改修部分のみ) ・行わない 測定対象室 ・図示 ・内部改修を行う室 測定箇所数 ・図示 ・箇所 採取方法 ・文部科学省の定めるところによる。 ・ 報告書の様式 濃度測定記録表の記載事項は、次のとおり 1.工事名 2.測定年月日 3.天候 4.測定前の換気及び閉鎖時間 5.測定時間 6.室名と測定時間 7.測定器具 8.化学物質採取方法 9.分析装置 | ⑳ 随時検査 | 発注者が随時検査を求めた場合、監督職員の指示に従い受検すること。 |
| | ④電気保安技術者 | ・適用する ○適用しない (1.3.3) 事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、その電気工作物の工事に必要な電気主任技術者の資格を有する者又はこれと同等の知識及び経験を有する者とする 一般電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、第一種又は第二種電気工事士の資格を有する者とする | | | ㉑ 施工体制台帳の提出 | 公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の定めにより、施工体制台帳の写しを提出すること。 |
| | ⑤施工条件 | ・工事車両の駐車場及び資機材置場 ※敷地内 ・敷地外 (1.3.5) ・施工に際しては、工程及び施工内容について施設管理者と綿密な調整を行った上で、施設の運営に支障をきたさないように協力すること。 ・工事期間中は、施設利用者の安全につとめること。 ・資機材の搬出入は第三者の安全に留意して、災害及び事故の防止に努めること。 ・大型車両通行時には、誘導員等を配置し、安全確保に努めること ・振動、騒音、ほこりでの作業やその他について、事前に施設管理者及び近隣と調整を行うこと。 ・給食室内改修工事着手は給食が終了する令和2年3月14日以降とする。 ・現場は3月27日までに完了し3月31日までに現場検査を受検すること。 ・引渡しを要するもの() (1.3.11) ・特定建設資材の搬出 再資源化等を行う(再資源化が困難な場合には縮減) ・特定建設資材以外の搬出 構外搬出適切処理 ・特別管理産業廃棄物(・無 ・有) 処理方法() ※ 廃棄物管理票(マニフェスト)確認表を作成し、監督職員にA票及びE票の写しを提出するものとする。ただし、電子情報処理組織に登録(電子マニフェスト)により確認を行う場合は、この限りではない。 | | | ⑳ 随時検査 | 発注者が随時検査を求めた場合、監督職員の指示に従い受検すること。 |
| | ⑥発生材の処理等 | | | | ㉑ 施工体制台帳の提出 | 公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の定めにより、施工体制台帳の写しを提出すること。 |
| 特記事項 | 変更事項 | | | | ⑳ 随時検査 | 発注者が随時検査を求めた場合、監督職員の指示に従い受検すること。 |
| | 日付 | | | | 日付 | 19.11 |
| | | | | | 検印 | |
| | | | | | 照会 | |
| | | | | | 名称 | 依那古・神戸小学校 新給食センター配送校給食室改修工事(令和2年春工事) |
| | | | | | 図面番号 | A-O1 |
| | | | | | 図名 | 共通 改修特記仕様書(1) |
| | | | | | 縮尺 | |
| | | | | | 検印 | |

2章 仮設工事

①足場その他
内部足場 種別 ○きやつ、足場板等 ・移動式足場 [2.2.1]
外部足場 種別 ※くさび緊結式(手すり先行工法) ・ [2.2.1]
防護シートによる養生 ・行わない ○行う
材料、撤去材等の運搬 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・E種 [2.2.1][表2.2.1]
既存部分の養生 ※ビニルシート、合板等 ・ [2.3.1]
固定家具等の移動 ※行わない ・行う(図示)

②養生その他

3 仮設間仕切り
(a)設置箇所 ※図示 ・ [2.3.2][表2.3.1]
種別 下地 仕上材(厚さmm) 充てん材 塗装
・A種 ※軽量鉄骨 ・合板(※9.0 ・) ※無し
・B種 ・木下地 ※せっこうボード(※9.5 ・) 厚さ mm ・片面
・C種 単管下地 防炎シート
仮設扉 ※木製扉 ・合板張り程度 ※無し
・鋼製扉 ・片面フラッシュ程度 ・有り

4 監督職員事務所
・設ける 規模等は以下による ・既存施設の一部を使用する ※設けない [2.4.1]
(・規模 m程度 ・仕上げ:床、壁、天井 程度)

⑤工事用水
構内既存の施設 ※利用できる (○有償 ・無償) ・利用できない

⑥工事用電力
構内既存の施設 ※利用できる (○有償 ・無償) ・利用できない

3章 防水改修工事

1 既存下地の補修及び処置 ※図示による [3.2.6]
既存露出防水層表面の仕上塗装の除去 ・する ・しない

2 アスファルト防水 [3.3.2~3][表3.1.1][表3.3.3~3.3.10]
防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種類
アスファルトの種類 ※3種 ・ 押え金物 ※アルミニウム製(L-30x15x2.0程度)
脱気装置 ・製造所の指定する製品 ・ステンレス製 設置数量 () 箇所
改修用ドレン ※設ける (箇所) ※鋼製 ・鉛製 ・設けない [3.2.5]
屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材
材質 ※押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA(スキン層付き)
・A種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板3種b(スキンあり)
厚さ(mm) ※35
屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材
材質 ・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号
※A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号
厚さ(mm) ※35
乾式保護材 製造所の仕様による
防水保護のれんがの種類 ※市販品のレンガ又は市販品のレンガ形コンクリートブロック
仕上塗装(P2A,M3D,POD,POD1,M3D1,M4D1,工法) ※種類および使用量は製造所の仕様による
施工標識 ※設ける ・設けない

3 改質アスファルトシート防水 [表3.1.1][3.4.2~3][表3.4.1~3]
防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種類(厚さmm) 仕上げ塗料等
仕上げ塗料の使用量 ※製造所の仕様による
脱気装置 ・製造所の指定する製品 ・ステンレス製 設置数量 () 箇所
露出防水絶縁断熱工法に用いる断熱材 ・製造所の指定する製品
・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号
施工標識 ※設ける ・設けない

4 合成高分子系ルーフィングシート防水 [表3.1.1][3.5.2~3][表3.5.1~2]
防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種類(厚さmm) 仕上げ塗料等
仕上げ塗料の使用量 ※製造所の仕様による
絶縁用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート ・ [3.5.2]
脱気装置 ・製造所の指定する製品 ・ステンレス製 設置数量 () 箇所
機械固定工法に用いる断熱材 ※次のいずれかによる
・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2種
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材の1種b、2種b又は3種b
・A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号
・A種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板
接着工法に用いる断熱材 ※次のいずれかによる
上記断熱材のほか ・ポリエチレンフォーム保温材 ・A種ポリエチレンフォーム保温材
改修用ドレン ※設ける (箇所) ・設けない
※製造所の指定する製品 ・鋼製 ・鉛製
施工標識 ※設ける ・設けない

5 塗膜防水 [表3.1.1][3.6.2~3][表3.6.1]
防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種類 仕上げ塗料等
仕上げ塗料の使用量 ※製造所の仕様による
既存塗膜防水層表面の仕上げ塗料の除去(L4X工法) ・除去する [3.2.6]
脱気装置(S4S工法及びS3S工法) ・設けない ・設ける
施工標識 ※設ける ・設けない

6 保証期間
防水の保証期間は原則、10年とする。ただし、既存の劣化等の状況により保証ができない場合は、保証できない理由を明確にし、監督職員と協議を行うこと。

7 シーリング
・シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 [3.1.4][表3.1.2]
・拡幅シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法
シーリング材の種類、施工箇所 [3.7.2][表3.7.1]
※下表以外は、改修標仕表 3.7.1を標準とする
施工箇所 シーリング材の種類(記号)
建具廻り MS-2
水廻り SR-1
シーリングの試験 ※行わない ・行う(※簡易接着性試験 ・引張接着性試験)

8 とい
材質 ・配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・硬質ポリ塩化カービド管(VP) [3.8.2(a)]
とい受け金物 ※SUS製 ・亜鉛メッキ製
ルーフトレン ※改修標仕表 3.8.2を標準とする ・図示による [3.8.2(b)][表3.8.2]
表面処理 ・A-1種 ※B-1種 [3.9.2]

9 アルミニウム製笠木

4章 外壁改修工事

1 施工数量調査
調査範囲 ・既存モルタル面 ・躯体コンクリート面 ・図示の範囲 [1.5.2]
調査内容 ひび割れ(0.2mm以上)の長さを表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタルの浮き部分を表示する。また、モルタルの欠損部の形状寸法等を調査する。
コンクリート表面のはがれ及びはく落部を調査する。
調査報告書の部数 ※1部

2 改修工法の種類 [4.1.4~5]
外壁の種類 種類 改修工法
・コンクリート ・ひび割れ部 ※樹脂注入工法・Uカットシール材充填工法・シール工法
打放し仕上げ ・欠損部 ※充填工法
・モルタル塗り ・ひび割れ部 ※樹脂注入工法・Uカットシール材充填工法・シール工法
仕上げ ・欠損部 ・充填工法 ・モルタル塗替工法
・浮き部 ・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
・目地 ・目地ひび割れ部改修工法 ・伸縮目地改修工法
・塗り仕上げ ・薄付け仕上塗材塗り ・可とう形改修用仕上塗材塗り
・厚付け仕上塗材塗り ・各種塗料塗り
・複層仕上塗材塗り ・マチック塗材塗り

3 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.3.4]
樹脂注入工法 (・モルタル面 ・躯体コンクリート面)
注入工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入間隔(mm) 注入量(cc/m) 備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~1.0未満 ※200~300 ※
・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~0.3未満 ※50~100 ※40
・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上~0.5未満 ※100~200 ※70
0.5以上~1.0未満 ※150~250 ※130
注入材料 [4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査(コア抜き) ※行わない
・行う(抜き取り部の補修方法:)
・Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]
充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング材
・可とう性エポキシ樹脂
ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない
・シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6]
シール材料 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂

4 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]
※充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]
充填材料 ・ポリマーセメントモルタル(・モルタル面 ・コンクリート面 ・C面)
・エポキシ樹脂モルタル()
・モルタル塗替工法(改修標仕4.2.2(g)による)

5 浮き部改修工法 [4.1.4][4.10~4.15][表4.4.3][表4.4.4]
改修工法の種類 アンカーピンの本数(本/m²) 注入口の箇所数(箇所/m²) 充てん量
(モルタルを撤去しない場合) 一般部 指定部 一般部 指定部 注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ※16 ※25 ※25ml
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ・25ml ※50ml
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※50ml
※狭幅部におけるアンカーピン本数は、幅中央に5本/mとする
アンカーピン [4.2.2]
材質 ※ステンレス SUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
注入口付アンカーピン [4.2.2]
材質 ※ステンレス SUS304、呼び径外径6mm

6 既存塗膜等の除去及び下地処理 [4.6.3][表4.6.1~4.6.5]
既存塗膜劣化部の除去及び下地処理の工法 [4.6.3][表4.6.1~4.6.5]
工法 処理範囲 下地面の補修
・サンダー工法 ※既存仕上面全体 ・ひび割れ部改修工法
・高圧水洗工法 ※既存仕上面全体 ・浮き部改修工法
・塗膜はく離工法 ※既存仕上面全体 ・欠損部改修工法
・水洗い工法 ※上記処理範囲以外の既存仕上面全体

7 仕上げ塗り材仕上げ [4.1.4][4.2.2][表4.2.4~5]
種類、仕上げの形状、工法 [4.1.4][4.2.2][表4.2.4~5]
種類 呼び名 仕上げの形状
・薄付け仕上塗材 ・外装薄塗材E ・砂壁状 ・着色骨材砂壁状
・可とう形外装薄塗材E ・砂壁状 ・ゆず肌状
・防水形外装薄塗材E ・ゆず肌状 ・凹凸状
・複層仕上塗材 ・複層塗材CE ・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状
上塗材
・可とう形複層塗材CE
・複層塗材E ・水系アクリル
・複層塗材RE ・水系アクリルシリコン
・防水形複層塗材CE 外観 ※つやあり ・つやなし
・防水形複層塗材E ・メタリック
・防水形複層塗材RS 防水形の増塗材 ・行う
・軒天用軽量骨材 ・吹付用軽量塗材 ・砂壁用
仕上塗材 ・こて塗用軽量塗材 ・平坦状

8 設計数量
外壁部位 種類 工法 数量 備考
・コンクリート打放し面 ・ひび割れ ※Uカットシール材充填工法 m
・欠損部 ※エポキシ樹脂モルタル充填工法 箇所
・モルタル塗り仕上げ面 ・ひび割れ ※Uカットシール材充填工法 m
・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 m
・欠損部 ※充填工法 m
・浮き部 ※アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 m
※上記数量については、現場調査を行い報告書を作成し、提出する。
尚、数量の10%を超える増減が生じた場合は協議の上、契約変更を行う事ができる。

| | | | | | | | | | | |
|----------------------|------------------------------------|--|---|--|---|----------------------------------|---------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|--------|
| 5章 建具 改修 工事 | 1 改修工法 | ・かぶせ工法 ・撤去工法（・引き抜き工法 ・はつり工法） [5.1.3] | 15 ガラス | 種類・厚さ ※ 建具表による [5.13.2] | 11 ビニル床タイル | [6.8.2] | | | | |
| | 2 見本の製作等 | ・建具見本の製作 ・特殊な建具の仮組 [5.1.5] | 16 ガラスの留め材 | 種別（区分は図示による） [5.13.2][表5.13.1] ※シーリング材（SR-1、シリコン系、9030G） ・ガasket | 種 類 | JISの記号 | 厚さ(mm) | 備 考 | | |
| | 3 アルミニウム製建具 | 外部に面する建具（フロントサッシは除く） [5.2.2][表5.2.1] | 17 ガラス用フィルム | 品質は、JIS A57591による ※熱線遮断用フィルム 種類（・第2種 ・ ） 張り面（※内張 ・外張） 性能値 ※層間変位試験に適合するもの（B法） | ※単層ビニル床タイル ・複層ビニル床タイル ・コンポジションビニル床タイル | TT | ※2.0 | ・ | | |
| | 4 網戸 | 種 別 | 耐風圧性 | 気密性 | 水密性 | 枠見込み(mm) | 施工箇所 | ※図示 | | |
| | | ・A種 | S-4 | ※A-3 | ※W-4 | ※70 | ※図示 | 接着材 ※改修仕様表6.8.1による ・エポキシ樹脂系 | | |
| | ・B種 | S-5 | A-4 | W-5 | ・100 | [6.8.2] | | | | |
| | ・C種 | S-6 | | | A-4 | W-5 | | ・100 | 種 類 | 厚さ(mm) |
| | 5 樹脂製建具 | 表面処理 | ※B-1種 ・B-2種(※ﾌﾞﾛｯｸ系 ・ﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝﾈｽ) | | | | [5.2.4][表5.2.2] | | | |
| | | 内部建具 | 表面処理 ※C-1又はB-1種 ・C-2又はB-2種(※ﾌﾞﾛｯｸ系 ・ﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝﾈｽ) ※D種(※ｽﾀｲﾄ) | | | | [5.2.4][表5.2.2] | | | |
| | 6 鋼製建具 | 防虫網 | [5.2.3] | | | | ※単層ビニル床タイル | | | |
| | | 網の種類 | ・ステンレス(SUS316)製 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 | | | | ※2.0 | | | |
| | 7 鋼製軽量建具 | 形式 | ※可動式 ・固定式 | | | | 体積抵抗値 1.0x10 ⁹ Ω以下又は | | | |
| | | 外部に面する建具（フロントサッシは製造所の仕様による） [5.3.2][表5.3.1] | 種 別 | 耐風圧性 | 気密性 | 水密性 | 枠見込み(mm) | 施工箇所 | 漏えい抵抗値 1.0x10 ¹⁰ Ω以下 | |
| | 8 ステンレス製建具 | ・A種 | S-4 | A-4 | W-5 | ※70 | ※図示 | 視覚障害者用床タイル [6.8.2] | | |
| ・B種 | | S-5 | ・100 | | | 種 類 | | 寸法(mm) | 施工箇所 | |
| ・C種 | S-6 | W-4 | ※70 | ・塩化ビニル製 | ※300×300 | ・ | | [6.8.2] | | |
| ・防音ドアセット及び防音サッシの適用 | 種別 | ・T-A種 ・T-B種 | [5.3.2][表5.3.2] | | ・レジンコンクリート製 | | [6.8.2] | | | |
| ・断熱ドアセット及び断熱サッシの適用 | 種別 | ・H-A種 ・H-B種 | [5.3.2][表5.3.3] | | ・磁器又はせっ器質タイル | [6.8.2] | | | | |
| 9 ④建具用金物 | 簡易気密型ドア ・使用する ※使用しない | [5.4.1] | | | | 高さ(mm) ・60 ※75 ・100 | | | | |
| | 品質規格 ※改修仕様表5.5.1による ・製造所標準仕様による | [5.5.2][表5.5.4] | | | | ・織じゅうたん [6.9.2][6.9.3][表6.9.1] | | | | |
| 10 自動ドア開閉装置 | 簡易気密型ドア ・使用する ※使用しない | [5.6.2][5.6.4] | | | | 種 別 | | | | |
| | 表面仕上げ ※H.L仕上げ ・鏡面仕上げ | [5.6.2][5.6.4] | | | | ・カットパイル | | | | |
| 11 自閉式上吊り引戸装置 | 曲げ加工 ※普通まげ ・角出しまげ | [5.6.2][5.6.4] | | | | 色柄等 | | | | |
| | 簡易気密型ドア ・使用する ※使用しない | [5.7.4] | | | | ※無地 | | | | |
| 12 重量シャッター | マスターキー ・製作する ○製作しない（既設マスター合わせ） | [5.7.4] | | | | ・柄物（標準品） | | | | |
| | モノロック | ゴール(UH) | 美和ロック(U9HK) | | [6.9.2][6.9.3][表6.9.2] | | | | | |
| 13 軽量シャッター | シリリンダー箱錠 | ゴール(AS) | 美和ロック(U9HK, MA, LH, LA) | | パイル形状 | | | | | |
| | シリリンダー本締り錠 | ゴール(HD) | 美和ロック(U9BH, DA) | | パイル長(mm) | | | | | |
| 14 その他のシャッター | ドアクローザー | ダイハツディーゼル機器(大島機工、ニッカナ) | | | | 工 法 | | | | |
| | フロアヒンジ | 日本ドアチェック製造、美和ロック、リヨービ | | | | ※全面接着工法 | | | | |
| 15 軽量シャッター | ピンジクローザー | 大島機工(ニッカナ、美和ロック)、日本ドアチェック製造 | | | | 人体帯電圧 | | | | |
| | 押板、取手 | リヨービ、デンセイオートテック | | | | ※3kv以下 | | | | |
| 16 重量シャッター | 閉閉方法 | ※スライディングドア ・スイングドア [5.8.2][5.8.3][表5.8.1~5.8.3] | | | | 耐電性 ※人体帯電圧3kV以下 ・ | | | | |
| | センサーの種類 | ・マットスイッチ ・光線スイッチ ・熱線スイッチ ・ | | | | ・タイルカーペット [6.9.2][6.9.3][表6.9.2] | | | | |
| 17 軽量シャッター | 品質規格 | ※改修仕様5.9.3による [5.9.3][表5.9.1] | | | | パイル形状 | | | | |
| | 閉閉機能 | ・上部電動式(手動併用) ・上部手動式 [5.10.2] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 18 軽量シャッター | スラット | 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・溶融亜鉛めっき鋼板 [5.10.3] | | | | 工 法 | | | | |
| | 形状 | ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] | | | | ※全面接着工法 | | | | |
| 19 軽量シャッター | シャッターケース(防火・防煙以外のもの) | ・設ける ・設けない | | | | 人体帯電圧 | | | | |
| | 危険防止機構 | ・障害物感知装置(自動閉鎖型) ・「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」に適合するもの | | | | ※3kv以下 | | | | |
| 20 軽量シャッター | 耐風圧性能 | () N/m ² (一般重量・外壁用防火のもの) | | | | ・カット、ループ併用 | | | | |
| | 閉閉形式 | ※手動式 ・上部電動式(手動併用) [5.11.2][表5.11.1] | | | | 下敷き材 | | | | |
| 21 その他のシャッター | スラット | 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ [5.11.3] | | | | 種類 ※第二種二号 | | | | |
| | 形状 | インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] | | | | 厚さ 8.0mm | | | | |
| 22 その他のシャッター | 耐風圧性能 | () N/m ² | | | | タイルカーペット [6.9.2][6.9.3][表6.9.2] | | | | |
| | 閉閉形式 | ※手動式 ・上部電動式(手動併用) [5.11.2][表5.11.1] | | | | バイル形状 | | | | |
| 23 その他のシャッター | スラット | 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ [5.11.3] | | | | 種類 | | | | |
| | 形状 | インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 24 その他のシャッター | 品質規格 | ※改修仕様5.9.3による [5.9.3][表5.9.1] | | | | 種類 | | | | |
| | 閉閉機能 | ・上部電動式(手動併用) ・上部手動式 [5.10.2] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 25 その他のシャッター | スラット | 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ [5.10.3] | | | | 種類 | | | | |
| | 形状 | インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 26 その他のシャッター | シャッターケース(防火・防煙以外のもの) | ・設ける ・設けない | | | | 種類 | | | | |
| | 危険防止機構 | ・障害物感知装置(自動閉鎖型) ・「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」に適合するもの | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 27 その他のシャッター | 耐風圧性能 | () N/m ² (一般重量・外壁用防火のもの) | | | | 種類 | | | | |
| | 閉閉形式 | ※手動式 ・上部電動式(手動併用) [5.11.2][表5.11.1] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 28 その他のシャッター | スラット | 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ [5.11.3] | | | | 種類 | | | | |
| | 形状 | インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 29 その他のシャッター | 品質規格 | ※改修仕様5.9.3による [5.9.3][表5.9.1] | | | | 種類 | | | | |
| | 閉閉機能 | ・上部電動式(手動併用) ・上部手動式 [5.10.2] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 30 その他のシャッター | スラット | 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ [5.10.3] | | | | 種類 | | | | |
| | 形状 | インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 31 その他のシャッター | シャッターケース(防火・防煙以外のもの) | ・設ける ・設けない | | | | 種類 | | | | |
| | 危険防止機構 | ・障害物感知装置(自動閉鎖型) ・「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」に適合するもの | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 32 その他のシャッター | 耐風圧性能 | () N/m ² (一般重量・外壁用防火のもの) | | | | 種類 | | | | |
| | 閉閉形式 | ※手動式 ・上部電動式(手動併用) [5.11.2][表5.11.1] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 33 その他のシャッター | スラット | 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ [5.11.3] | | | | 種類 | | | | |
| | 形状 | インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 34 その他のシャッター | 品質規格 | ※改修仕様5.9.3による [5.9.3][表5.9.1] | | | | 種類 | | | | |
| | 閉閉機能 | ・上部電動式(手動併用) ・上部手動式 [5.10.2] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 35 その他のシャッター | スラット | 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ [5.10.3] | | | | 種類 | | | | |
| | 形状 | インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 36 その他のシャッター | シャッターケース(防火・防煙以外のもの) | ・設ける ・設けない | | | | 種類 | | | | |
| | 危険防止機構 | ・障害物感知装置(自動閉鎖型) ・「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」に適合するもの | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 37 その他のシャッター | 耐風圧性能 | () N/m ² (一般重量・外壁用防火のもの) | | | | 種類 | | | | |
| | 閉閉形式 | ※手動式 ・上部電動式(手動併用) [5.11.2][表5.11.1] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 38 その他のシャッター | スラット | 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ [5.11.3] | | | | 種類 | | | | |
| | 形状 | インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 39 その他のシャッター | 品質規格 | ※改修仕様5.9.3による [5.9.3][表5.9.1] | | | | 種類 | | | | |
| | 閉閉機能 | ・上部電動式(手動併用) ・上部手動式 [5.10.2] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 40 その他のシャッター | スラット | 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ [5.10.3] | | | | 種類 | | | | |
| | 形状 | インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 41 その他のシャッター | シャッターケース(防火・防煙以外のもの) | ・設ける ・設けない | | | | 種類 | | | | |
| | 危険防止機構 | ・障害物感知装置(自動閉鎖型) ・「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」に適合するもの | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 42 その他のシャッター | 耐風圧性能 | () N/m ² (一般重量・外壁用防火のもの) | | | | 種類 | | | | |
| | 閉閉形式 | ※手動式 ・上部電動式(手動併用) [5.11.2][表5.11.1] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 43 その他のシャッター | スラット | 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ [5.11.3] | | | | 種類 | | | | |
| | 形状 | インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 44 その他のシャッター | 品質規格 | ※改修仕様5.9.3による [5.9.3][表5.9.1] | | | | 種類 | | | | |
| | 閉閉機能 | ・上部電動式(手動併用) ・上部手動式 [5.10.2] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 45 その他のシャッター | スラット | 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ [5.10.3] | | | | 種類 | | | | |
| | 形状 | インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 46 その他のシャッター | シャッターケース(防火・防煙以外のもの) | ・設ける ・設けない | | | | 種類 | | | | |
| | 危険防止機構 | ・障害物感知装置(自動閉鎖型) ・「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」に適合するもの | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 47 その他のシャッター | 耐風圧性能 | () N/m ² (一般重量・外壁用防火のもの) | | | | 種類 | | | | |
| | 閉閉形式 | ※手動式 ・上部電動式(手動併用) [5.11.2][表5.11.1] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 48 その他のシャッター | スラット | 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ [5.11.3] | | | | 種類 | | | | |
| | 形状 | インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 49 その他のシャッター | 品質規格 | ※改修仕様5.9.3による [5.9.3][表5.9.1] | | | | 種類 | | | | |
| | 閉閉機能 | ・上部電動式(手動併用) ・上部手動式 [5.10.2] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 50 その他のシャッター | スラット | 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ [5.10.3] | | | | 種類 | | | | |
| | 形状 | インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 51 その他のシャッター | シャッターケース(防火・防煙以外のもの) | ・設ける ・設けない | | | | 種類 | | | | |
| | 危険防止機構 | ・障害物感知装置(自動閉鎖型) ・「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」に適合するもの | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 52 その他のシャッター | 耐風圧性能 | () N/m ² (一般重量・外壁用防火のもの) | | | | 種類 | | | | |
| | 閉閉形式 | ※手動式 ・上部電動式(手動併用) [5.11.2][表5.11.1] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 53 その他のシャッター | スラット | 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ [5.11.3] | | | | 種類 | | | | |
| | 形状 | インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 54 その他のシャッター | 品質規格 | ※改修仕様5.9.3による [5.9.3][表5.9.1] | | | | 種類 | | | | |
| | 閉閉機能 | ・上部電動式(手動併用) ・上部手動式 [5.10.2] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 55 その他のシャッター | スラット | 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ [5.10.3] | | | | 種類 | | | | |
| | 形状 | インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 56 その他のシャッター | シャッターケース(防火・防煙以外のもの) | ・設ける ・設けない | | | | 種類 | | | | |
| | 危険防止機構 | ・障害物感知装置(自動閉鎖型) ・「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」に適合するもの | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 57 その他のシャッター | 耐風圧性能 | () N/m ² (一般重量・外壁用防火のもの) | | | | 種類 | | | | |
| | 閉閉形式 | ※手動式 ・上部電動式(手動併用) [5.11.2][表5.11.1] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 58 その他のシャッター | スラット | 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ [5.11.3] | | | | 種類 | | | | |
| | 形状 | インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 59 その他のシャッター | 品質規格 | ※改修仕様5.9.3による [5.9.3][表5.9.1] | | | | 種類 | | | | |
| | 閉閉機能 | ・上部電動式(手動併用) ・上部手動式 [5.10.2] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 60 その他のシャッター | スラット | 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ [5.10.3] | | | | 種類 | | | | |
| | 形状 | インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 61 その他のシャッター | シャッターケース(防火・防煙以外のもの) | ・設ける ・設けない | | | | 種類 | | | | |
| | 危険防止機構 | ・障害物感知装置(自動閉鎖型) ・「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」に適合するもの | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 62 その他のシャッター | 耐風圧性能 | () N/m ² (一般重量・外壁用防火のもの) | | | | 種類 | | | | |
| | 閉閉形式 | ※手動式 ・上部電動式(手動併用) [5.11.2][表5.11.1] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 63 その他のシャッター | スラット | 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ [5.11.3] | | | | 種類 | | | | |
| | 形状 | インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 64 その他のシャッター | 品質規格 | ※改修仕様5.9.3による [5.9.3][表5.9.1] | | | | 種類 | | | | |
| | 閉閉機能 | ・上部電動式(手動併用) ・上部手動式 [5.10.2] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 65 その他のシャッター | スラット | 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ [5.10.3] | | | | 種類 | | | | |
| | 形状 | インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 66 その他のシャッター | シャッターケース(防火・防煙以外のもの) | ・設ける ・設けない | | | | 種類 | | | | |
| | 危険防止機構 | ・障害物感知装置(自動閉鎖型) ・「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」に適合するもの | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 67 その他のシャッター | 耐風圧性能 | () N/m ² (一般重量・外壁用防火のもの) | | | | 種類 | | | | |
| | 閉閉形式 | ※手動式 ・上部電動式(手動併用) [5.11.2][表5.11.1] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 68 その他のシャッター | スラット | 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ [5.11.3] | | | | 種類 | | | | |
| | 形状 | インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 69 その他のシャッター | 品質規格 | ※改修仕様5.9.3による [5.9.3][表5.9.1] | | | | 種類 | | | | |
| | 閉閉機能 | ・上部電動式(手動併用) ・上部手動式 [5.10.2] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 70 その他のシャッター | スラット | 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ [5.10.3] | | | | 種類 | | | | |
| | 形状 | インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 71 その他のシャッター | シャッターケース(防火・防煙以外のもの) | ・設ける ・設けない | | | | 種類 | | | | |
| | 危険防止機構 | ・障害物感知装置(自動閉鎖型) ・「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」に適合するもの | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 72 その他のシャッター | 耐風圧性能 | () N/m ² (一般重量・外壁用防火のもの) | | | | 種類 | | | | |
| | 閉閉形式 | ※手動式 ・上部電動式(手動併用) [5.11.2][表5.11.1] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 73 その他のシャッター | スラット | 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ [5.11.3] | | | | 種類 | | | | |
| | 形状 | インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 74 その他のシャッター | 品質規格 | ※改修仕様5.9.3による [5.9.3][表5.9.1] | | | | 種類 | | | | |
| | 閉閉機能 | ・上部電動式(手動併用) ・上部手動式 [5.10.2] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 75 その他のシャッター | スラット | 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ [5.10.3] | | | | 種類 | | | | |
| | 形状 | インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 76 その他のシャッター | シャッターケース(防火・防煙以外のもの) | ・設ける ・設けない | | | | 種類 | | | | |
| | 危険防止機構 | ・障害物感知装置(自動閉鎖型) ・「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」に適合するもの | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 77 その他のシャッター | 耐風圧性能 | () N/m ² (一般重量・外壁用防火のもの) | | | | 種類 | | | | |
| | 閉閉形式 | ※手動式 ・上部電動式(手動併用) [5.11.2][表5.11.1] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 78 その他のシャッター | スラット | 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ [5.11.3] | | | | 種類 | | | | |
| | 形状 | インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 79 その他のシャッター | 品質規格 | ※改修仕様5.9.3による [5.9.3][表5.9.1] | | | | 種類 | | | | |
| | 閉閉機能 | ・上部電動式(手動併用) ・上部手動式 [5.10.2] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 80 その他のシャッター | スラット | 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ [5.10.3] | | | | 種類 | | | | |
| | 形状 | インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 81 その他のシャッター | シャッターケース(防火・防煙以外のもの) | ・設ける ・設けない | | | | 種類 | | | | |
| | 危険防止機構 | ・障害物感知装置(自動閉鎖型) ・「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」に適合するもの | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 82 その他のシャッター | 耐風圧性能 | () N/m ² (一般重量・外壁用防火のもの) | | | | 種類 | | | | |
| | 閉閉形式 | ※手動式 ・上部電動式(手動併用) [5.11.2][表5.11.1] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 83 その他のシャッター | スラット | 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ [5.11.3] | | | | 種類 | | | | |
| | 形状 | インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 84 その他のシャッター | 品質規格 | ※改修仕様5.9.3による [5.9.3][表5.9.1] | | | | 種類 | | | | |
| | 閉閉機能 | ・上部電動式(手動併用) ・上部手動式 [5.10.2] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 85 その他のシャッター | スラット | 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ [5.10.3] | | | | 種類 | | | | |
| | 形状 | インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 86 その他のシャッター | シャッターケース(防火・防煙以外のもの) | ・設ける ・設けない | | | | 種類 | | | | |
| | 危険防止機構 | ・障害物感知装置(自動閉鎖型) ・「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」に適合するもの | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 87 その他のシャッター | 耐風圧性能 | () N/m ² (一般重量・外壁用防火のもの) | | | | 種類 | | | | |
| | 閉閉形式 | ※手動式 ・上部電動式(手動併用) [5.11.2][表5.11.1] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 88 その他のシャッター | スラット | 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ [5.11.3] | | | | 種類 | | | | |
| | 形状 | インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 89 その他のシャッター | 品質規格 | ※改修仕様5.9.3による [5.9.3][表5.9.1] | | | | 種類 | | | | |
| | 閉閉機能 | ・上部電動式(手動併用) ・上部手動式 [5.10.2] | | | | バイル長(mm) | | | | |
| 90 その他のシャッター | スラット | | | | | | | | | |

6章 内装改修工事

19 せっこうボード
その他ボード張り

Table with columns: 種類, JISの記号, 厚さ(mm), 規格等. Lists materials like 硬質木毛セメント板, 普通木毛セメント板, etc.

20 せっこうボードの
目地処理

Table with columns: 目地処理の種類等, 目地処理. Lists methods like 縦目地処理, 突付け工法, etc.

21 壁紙張り

Table with columns: 施工箇所, 壁紙の種類, 防火性能, 備考. Lists rooms like 保育室, 乳児保育室, etc.

22 磁器器質タイル張り

Table with columns: タイルの種類, 施工箇所, 形状寸法, 用途による区分, 耐凍害性, 色調, うわぐすり, 役物. Lists tile types and specifications.

23 セルフレベリング

セルフレベリング材の種類 ・せっこう系 ※セメント系 [6.17.1][表6.17.1]

24 断熱材

Table with columns: 種類, 施工箇所, 厚さ(mm), 品質等. Lists insulation materials like ポリスチレンフォーム, etc.

25 可動間仕切

Table with columns: 構造形式, 各部の総厚さ(mm), 表面材種 厚さ(mm), 表面仕上げ. Lists movable partition types.

26 フリーアクセス
フロア

Table with columns: 施工箇所, 仕上り高, 耐震性能, 耐荷重性能, 表面仕上げ材. Lists floor specifications.

27 移動間仕切り

Table with columns: パネル表面材, 遮音性, パネル及び圧着装置の操作方法. Lists movable partition details.

28 トイレブース

Table with columns: パネル表面材, 脚部. Lists toilet booth specifications.

29 階段滑り止め

Table with columns: 材種, 寸法. Lists stair slip-resistant materials.

30 黒板及び
ホワイトボード

Table with columns: 黒板, 種類. Lists blackboard and whiteboard types.

31 ブラインド

Table with columns: 形式, 種類, スラットの材種・幅(mm), 施工箇所. Lists blind specifications.

32 カーテン

Table with columns: 施工箇所, 名称・品質, ひだの種類, 形式. Lists curtain specifications.

33 点検口

Table with columns: 天井点検口, 床点検口. Lists inspection hatch types.

34 流し台ユニット

Table with columns: 種類, 寸法, 適用内容, 規格・品質等. Lists sink unit specifications.

7章 塗装改修工事

1 材料一般

・屋内の壁及び天井の塗装仕上げは、防火材料とする。

2 下地調整

RB種の場合の既存塗膜の除去範囲

Table with columns: 下地面の種類, 下地調整の種類別, 備考. Lists underlayment adjustment details.

既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修

3 錆止め塗料塗り

Table with columns: 塗料種別, 塗り工法. Lists rust prevention paint types and application methods.

4 合成樹脂調合
ペイント塗り(SOP)

Table with columns: 下地の種類, 塗料種類, 塗り工法. Lists synthetic resin paint specifications.

5 フタル酸樹脂
エナメル塗り(FE)

Table with columns: 木部, 鉄鋼面, 亜鉛めっき面. Lists enamel paint application areas.

6 アクリル樹脂系非水
分散形塗料(NAD)

Table with columns: 塗替えの場合の下地調整, 塗り工法の種別. Lists acrylic resin paint application details.

7 耐候性塗料塗り(DP)

Table with columns: 塗替えの場合の下地調整, 上塗種別. Lists weather-resistant paint application details.

8 つや有合成樹脂
エマルジョン
ペイント塗り(EP-G)

Table with columns: 下地の種類, 塗り工法. Lists gloss synthetic resin emulsion paint application details.

9 合成樹脂エマルシ
ンペイント塗り(EP)

Table with columns: 塗り工法の種別. Lists synthetic resin emulsion paint application methods.

10 合成樹脂エマルジョン模
塗料塗り(EP-T)

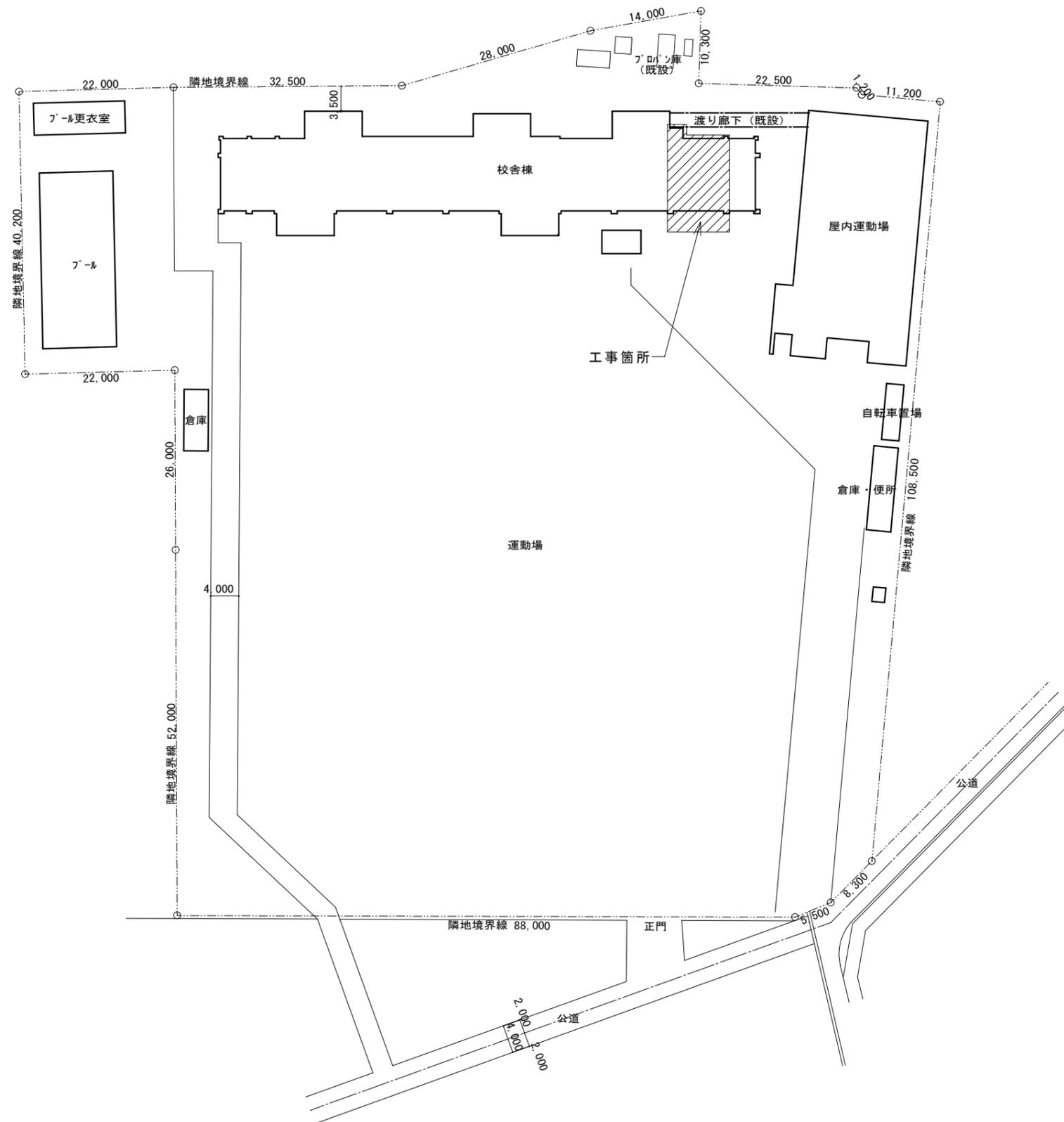
Table with columns: 新規の塗りの種別, 塗替えの場合. Lists synthetic resin emulsion mold paint application details.

11 ウレタン樹脂
ワニス塗り(UC)

Table with columns: 塗り工法の種別, 塗料の種別. Lists urethane resin varnish application details.

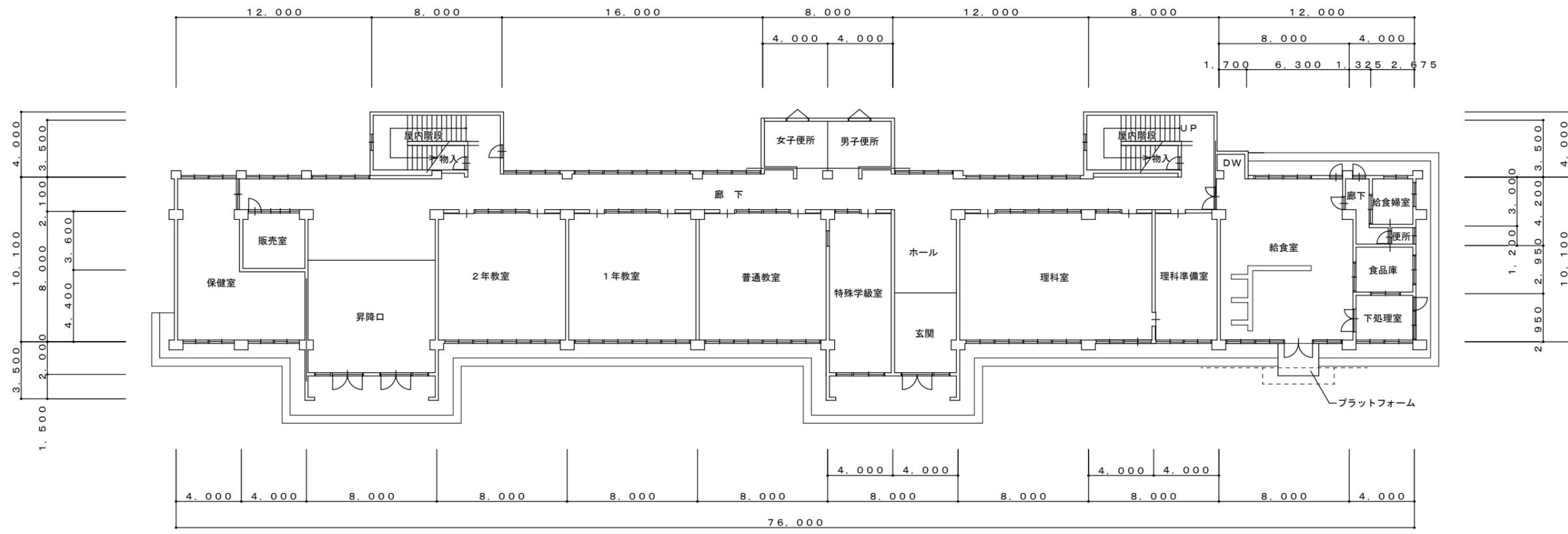
12 木材保護塗料塗り
(WP)

Table with columns: 工法. Lists wood protection paint application methods.

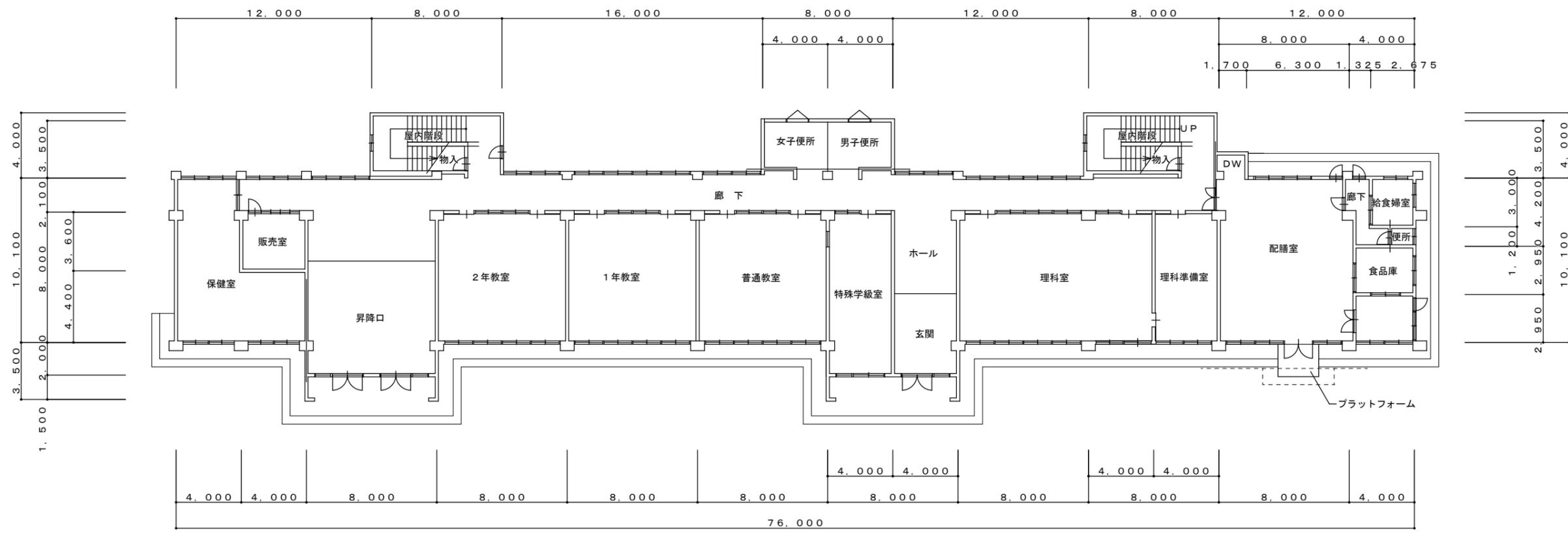


配置図 S = 1 / 500

| | | | | | |
|--------------------------|------|---|---------------------------|---|------------|
| 特記事項 ・ ・ ・ ・ | 変更事項 | ・ | 日付 19.11 | 名称 依那古・神戸小学校 新給食センター配送給食室改修工事 (令和2年春工事) | 図番 A-07 |
| | ・ | ・ | | | |
| | ・ | ・ | | | |
| | 日付 | ・ | | | |
| | | | 縮尺 A3版 縮小 A2版 1/500 | 図名 配置図 (依那古小学校) | 捺印 |

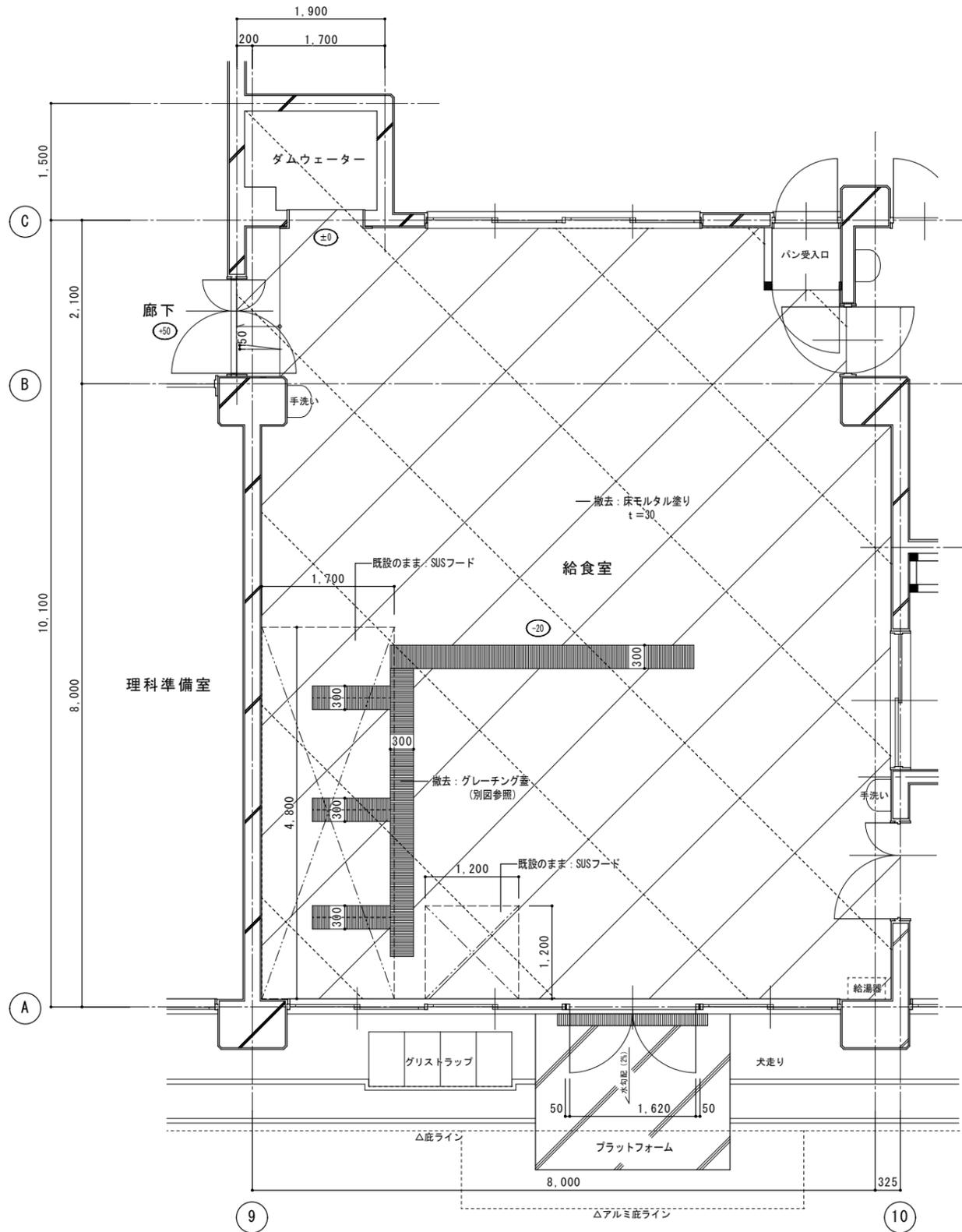


改修前 1階平面図 S=1/200



改修後 1階平面図 S=1/200

| | | | | | | | |
|------|------|-----|-------|----|---|------|---------------------|
| 特記事項 | 変更事項 | 日付 | 19.11 | 名称 | 依那古・神戸小学校 新給食センター配送校給食室改修工事(令和2年春工事) | 図面番号 | A-08 |
| | | 検査 | | 図名 | 改修前・改修後平面図(依那古小学校) | 縮尺 | A3版 縮小 A2版 1/200 |
| | | 担当者 | | 縮尺 | | 検印 | |
| | | 日付 | | | | | |



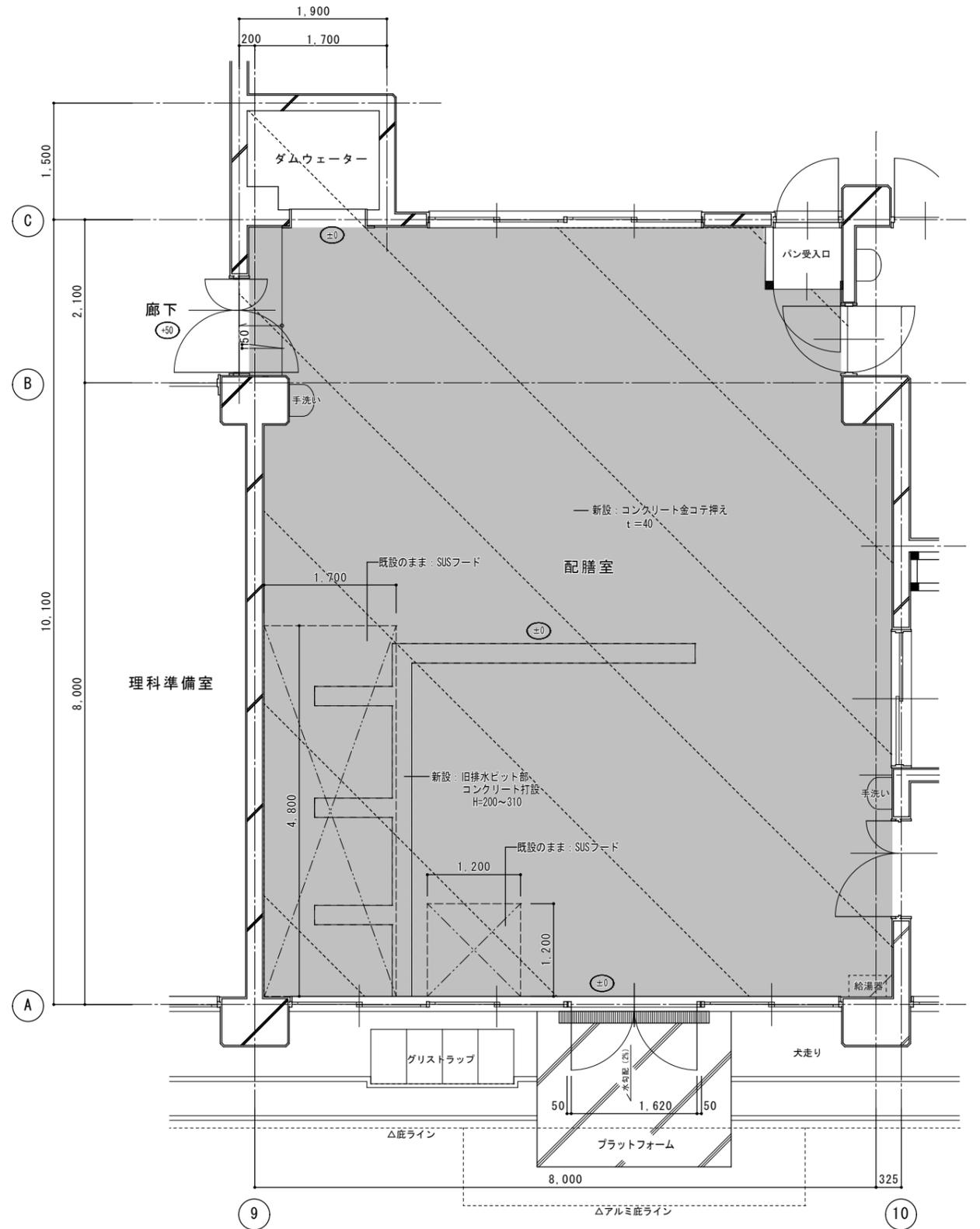
改修前
給食室 平面図 S=1:50

±0 : 配膳室FLからの高さを示す。

床モルタル施工厚さが40mmを超える箇所が発生した場合は
監督員と協議の上、ひび割れ防止措置を講ずること。

| 凡例 | |
|----|---------------------|
| | 屋内改修範囲を示す |
| | コンクリート金コテ押え範囲を示す |
| | 床 モルタル金コテ押え 撤去範囲を示す |

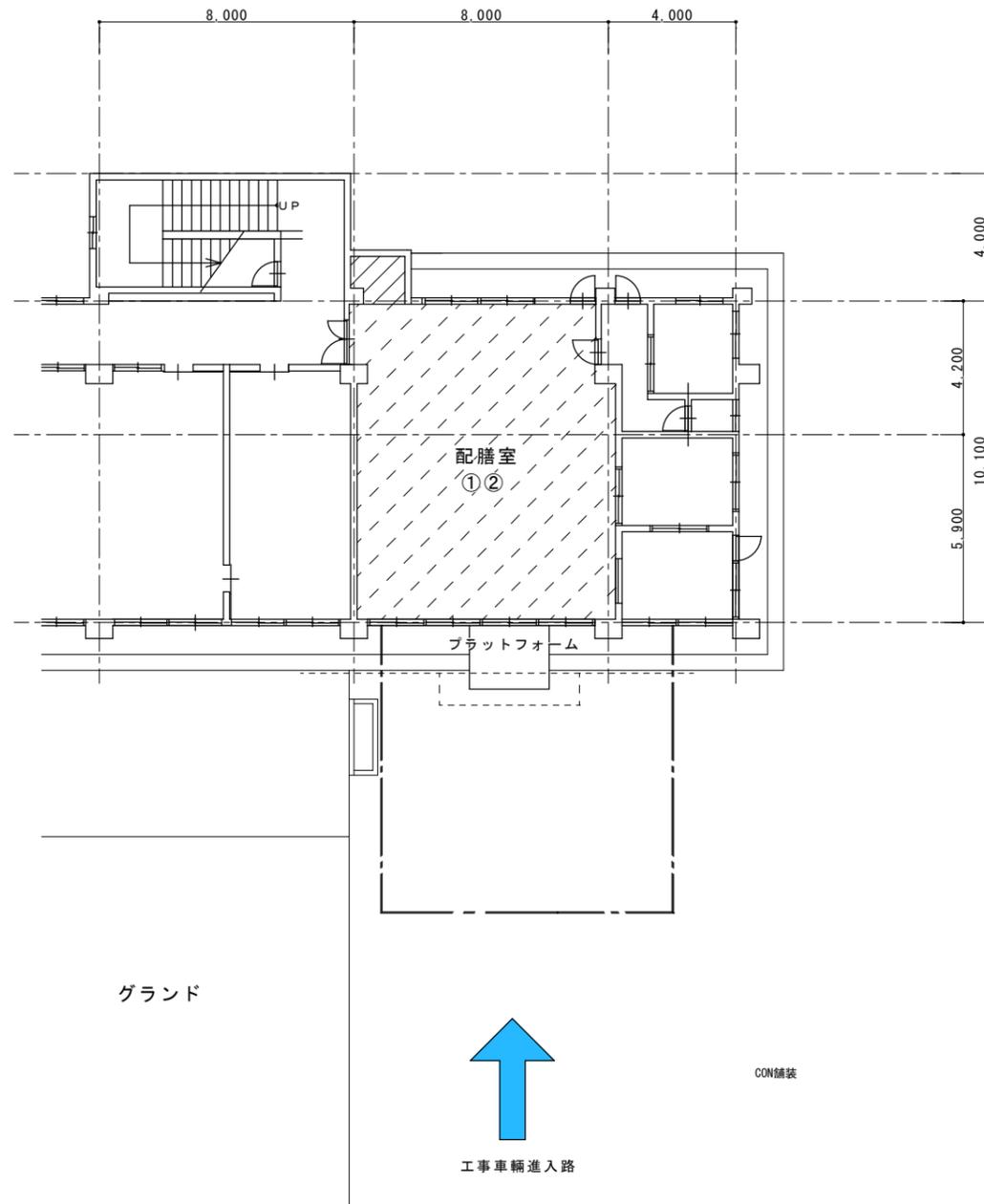
| 給食室 改修部 改修前仕上表 | | CH = 3,100 |
|----------------|---|------------|
| 床 | モルタル金コテ押え t=30 排水ユニット内部: 防水モルタル金コテ押え | |



改修後
配膳室 平面図 S=1:50

±0 : 配膳室FLからの高さを示す。
配膳室FLは既設給食室床水上高さを基準として設定し、
監督員の現地立ち合いのもと承認を得ること。

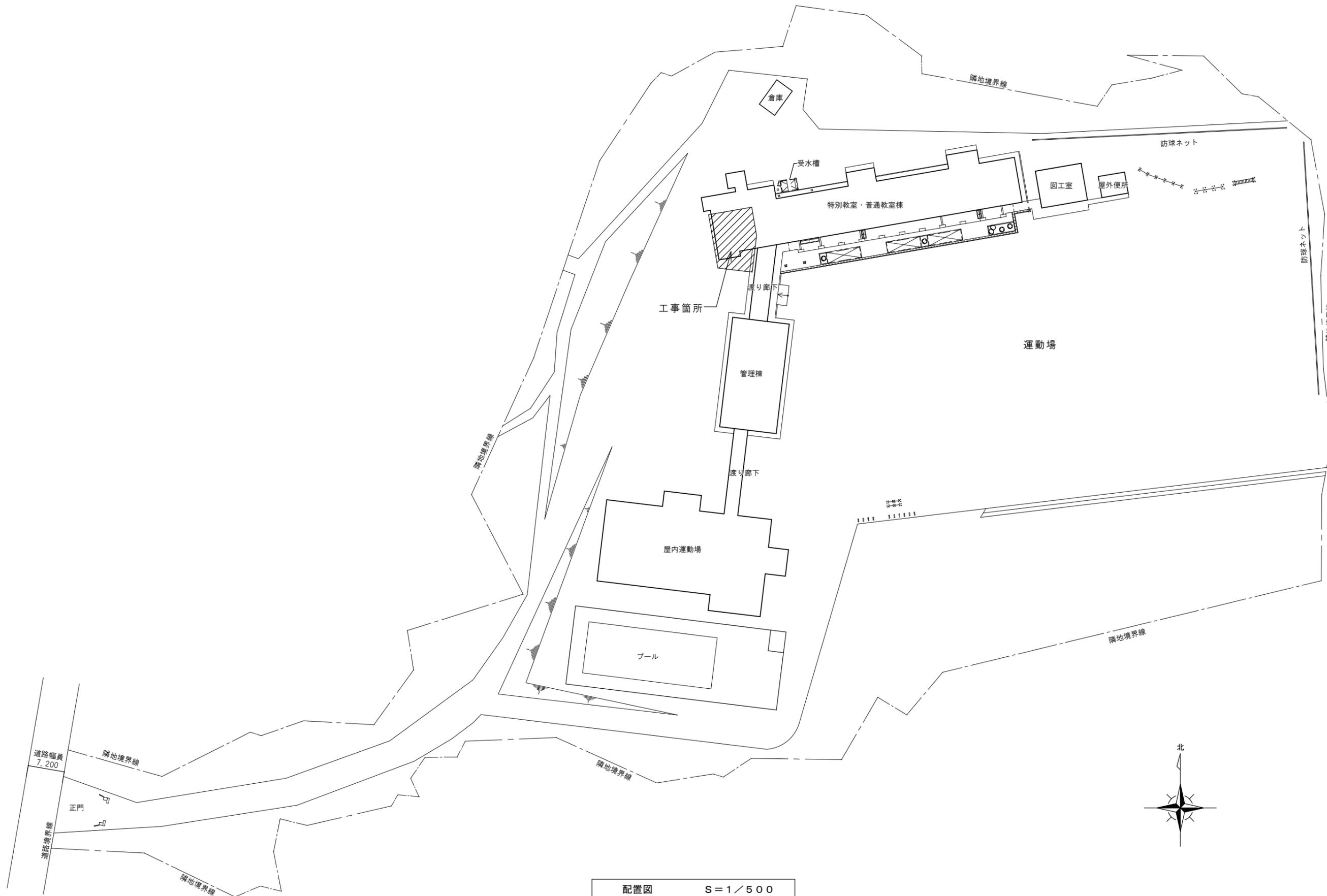
| 配膳室 改修部 改修後仕上表 | | CH = 3,100 |
|----------------|---------------------------------------|------------|
| 床 | コンクリート金コテ押え t=40 排水ユニット部: コンクリート充填 | |



仮設計画図 (2020年春休み) S = 1 / 150

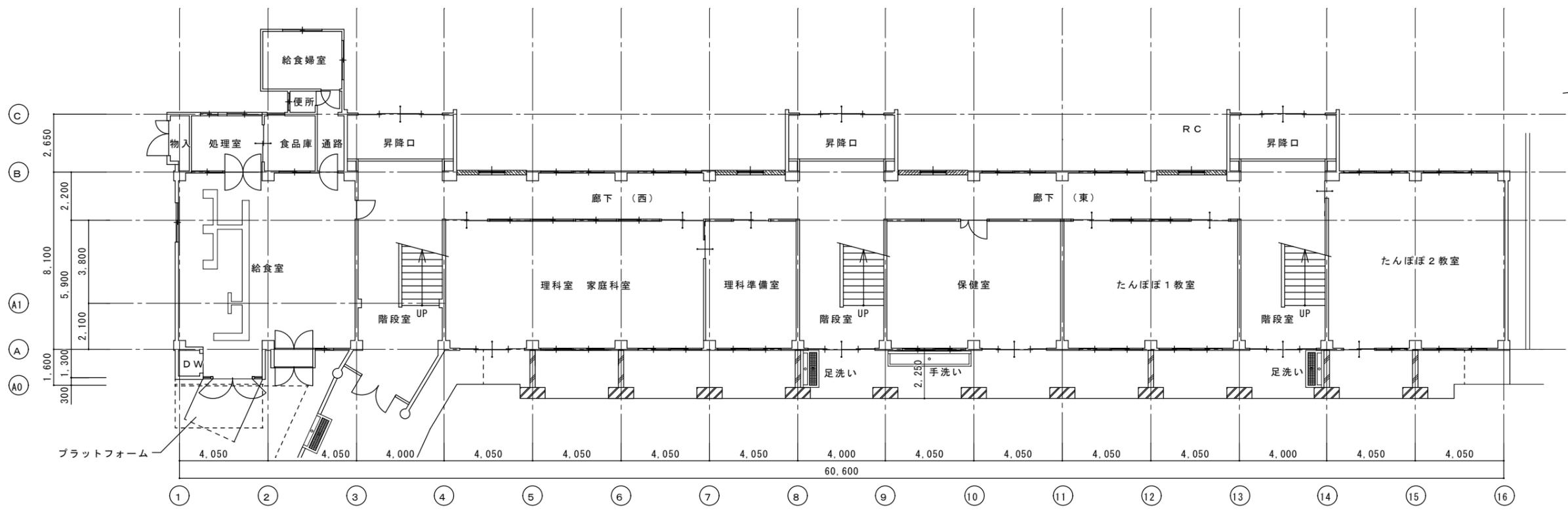
| 工事内容 凡例 | |
|---------|----------|
| ① | 給食室他内部改修 |
| ② | 空調設備改修 |
| ③ | |
| ④ | |
| ⑤ | |
| ⑥ | |
| ⑦ | |

| 凡例 | |
|----|------------------|
| | 屋内施工範囲を示す |
| | 単管バリケードを示す 27.1m |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

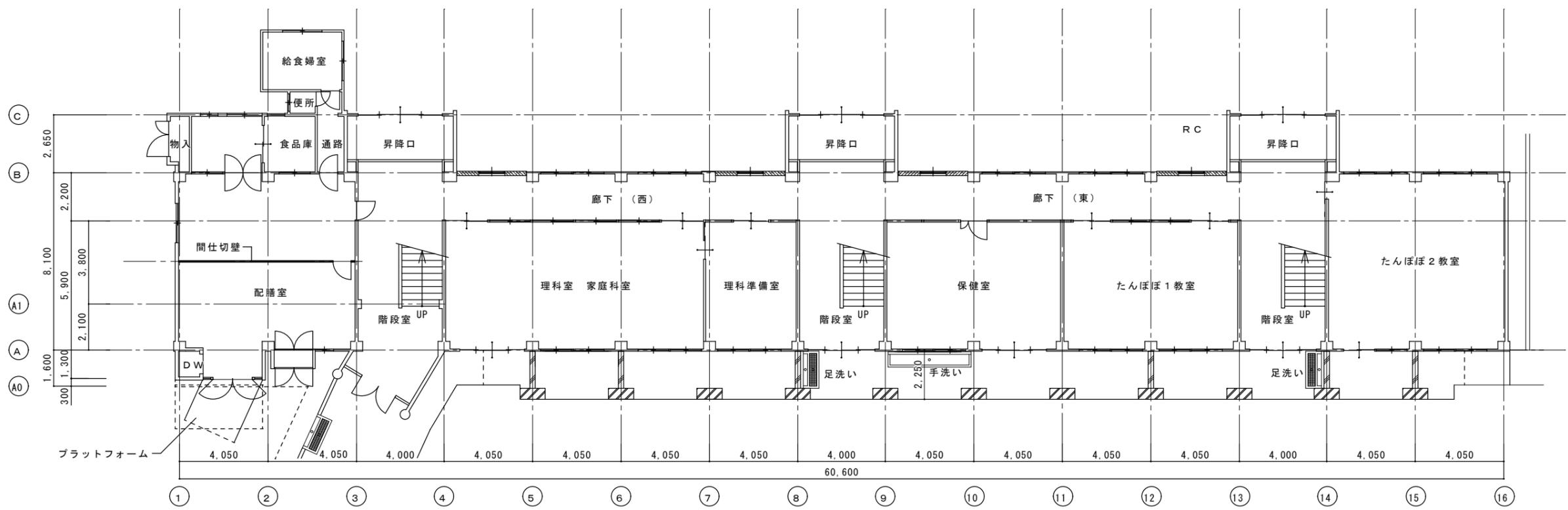


配置図 S=1/500

| | | | | | | | | |
|------|------|--|----|----------|----|---|------|--------------------|
| 特記事項 | 変更事項 | | 日付 | ' 19. 11 | 名称 | 依那古・神戸小学校 新給食センター配送校給食室改修工事（令和2年春工事） | 図面番号 | A-12 |
| | | | 棟名 | | 図名 | 配置図（神戸小学校） | 縮尺 | A3版 縮小 A2版1/500 |
| | | | 日付 | | | | 棟印 | |

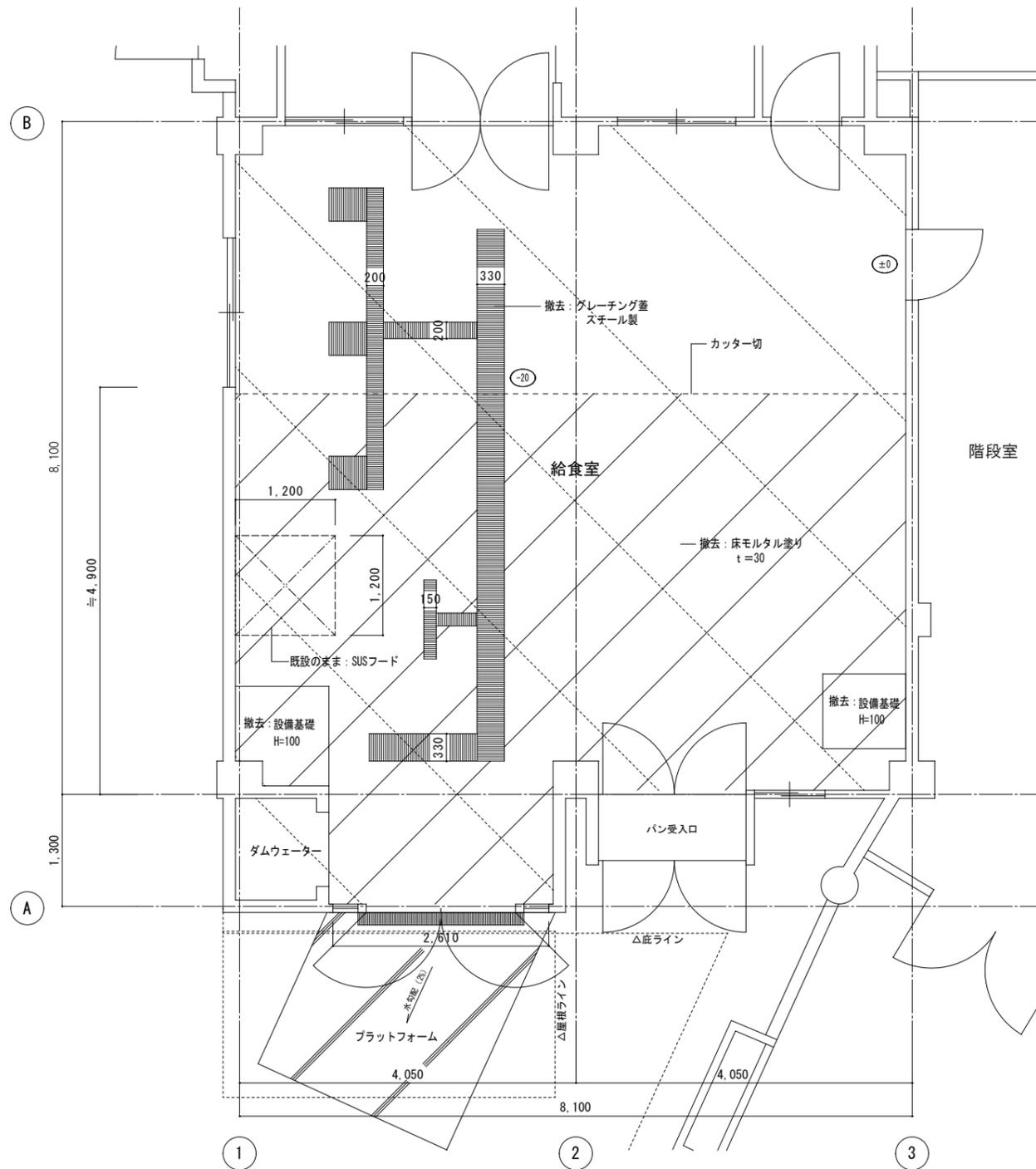


改修前 1階平面図 S=1/150



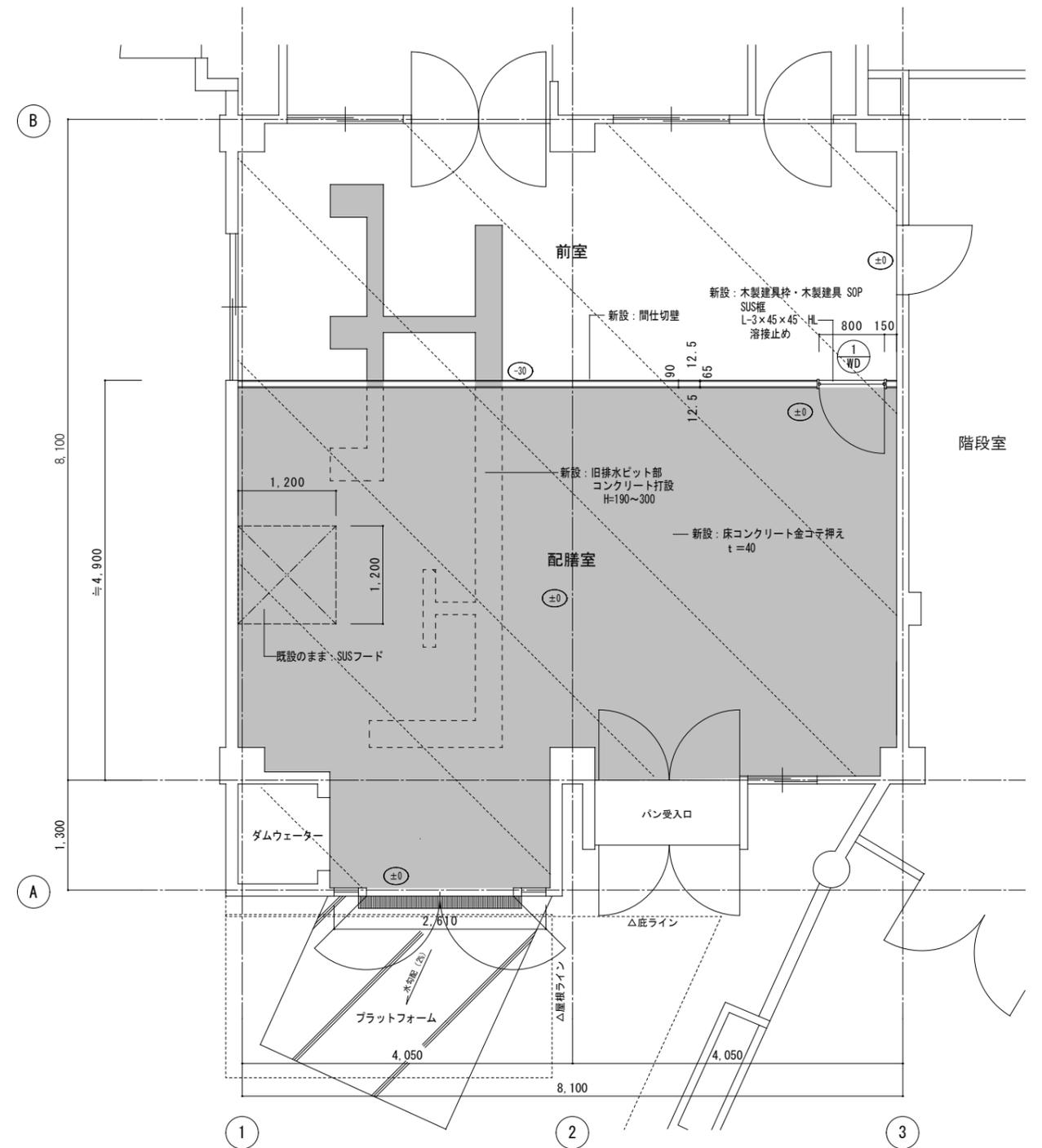
改修後 1階平面図 S=1/150

| | | | | | | | | |
|------|------|--|-----|-------|----|---|------|--------------------|
| 特記事項 | 変更事項 | | 日付 | 19.11 | 名称 | 依那古・神戸小学校 新給食センター配送校給食室改修工事(令和2年春工事) | 図面番号 | A-13 |
| | | | 概算 | | 図名 | 改修前・改修後平面図(神戸小学校) | 縮尺 | A3版 縮小 A2版1/150 |
| | | | 担当者 | | 検印 | | | |
| | 日付 | | | | | | | |



改修前
給食室 平面図 S=1:50

±0 : 給食室FLからの高さを示す。



改修後
配膳室 平面図 S=1:50

±0 : 配膳室FLからの高さを示す。
配膳室FLは既設給食室床水上高さを基準として設定し、
監督員の現地立ち合いのもと承認を得ること。

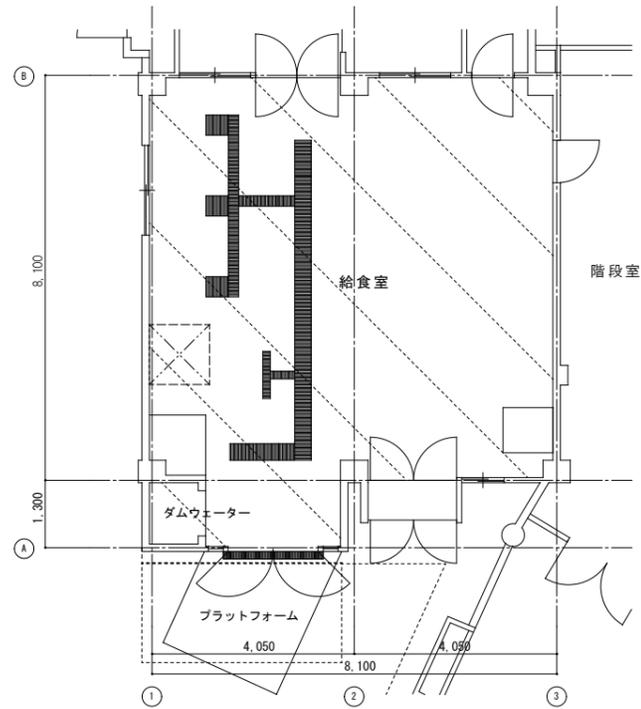
床モルタル施工厚さが40mmを超える箇所が発生した場合は
監督員と協議の上、ひび割れ防止措置を講じること。

| 凡例 | |
|----|---------------------|
| | 屋内改修範囲を示す |
| | コンクリート金コテ押え範囲を示す |
| | 床 モルタル金コテ押え 撤去範囲を示す |

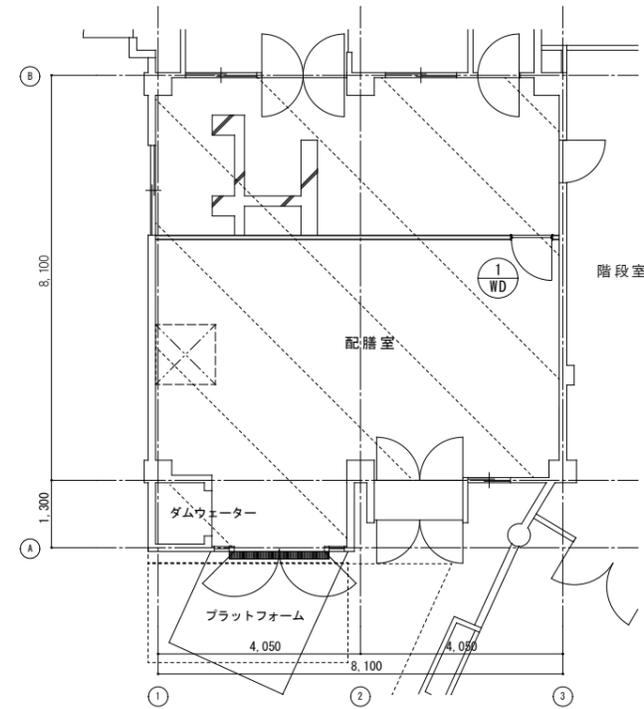
| 給食室 改修部 | 改修前仕上表 | CH = 3,080 |
|---------|--|------------|
| 床 | モルタル金コテ押え t=30 排水ビット内部: 防水モルタル金コテ押え | |

| 前室 改修部 | 改修内容仕上表 | CH = 3,080 |
|--------|--|------------|
| 床 | 排水ビット部: コンクリート充填 | |
| 間仕切壁 | P812.5 EP-G LGS65 #300 下地 既設天井・壁取合い部: 塩ビ見切 (コ型) ビニル巾木 | H = 75 |

| 配膳室 改修部 | 改修後仕上表 | CH = 3,080 |
|---------|--|------------|
| 床 | コンクリート金コテ押え t=40 排水ビット部: コンクリート充填 | |
| 間仕切壁 | P812.5 EP-G LGS65 #300 下地 既設天井・壁取合い部: 塩ビ見切 (コ型) ビニル巾木 | H = 75 |

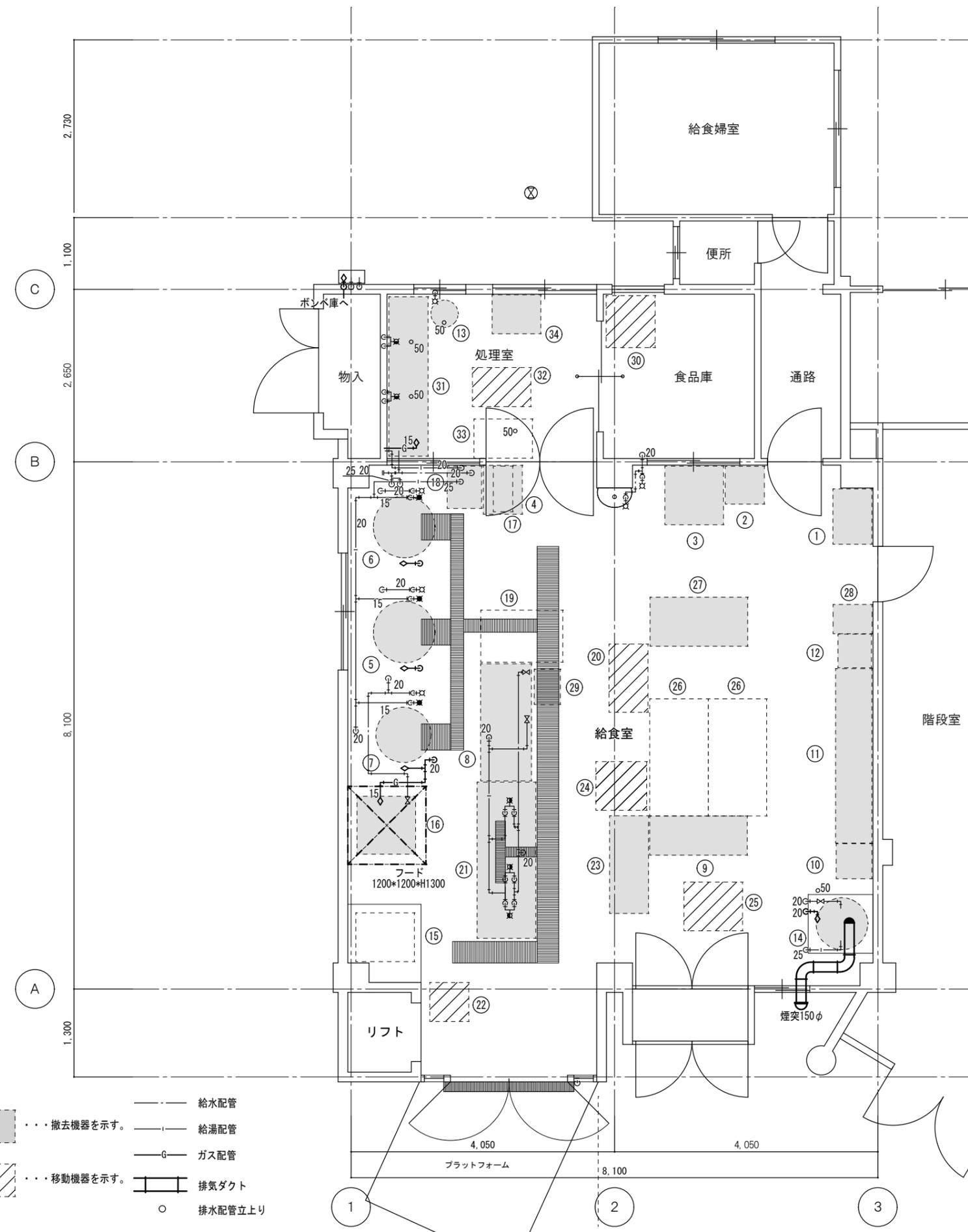


改修前
建具指示図 S=1:100



改修後
建具指示図 S=1:100

| 記号 | 数量 | 場所 | 1 WD | 1 | 配膳室 |
|-------------|----|----|---|---|-----|
| | | | 1 WD (新設) | | |
| 姿図 (内観図) | | | | | |
| 見込 | | | | | 40 |
| 型式 | | | 片開きフラッシュ戸 | | |
| 材質 | | | しな合板 | | |
| ガラス | | | | | |
| 金物 | | | レバーハンドル・ドアクローザー(ストッパー付)・戸当り・シリンダー錠・取付金物一式 | | |
| 備考 | | | 木枠・扉 SOP | | |



厨房機器撤去リスト

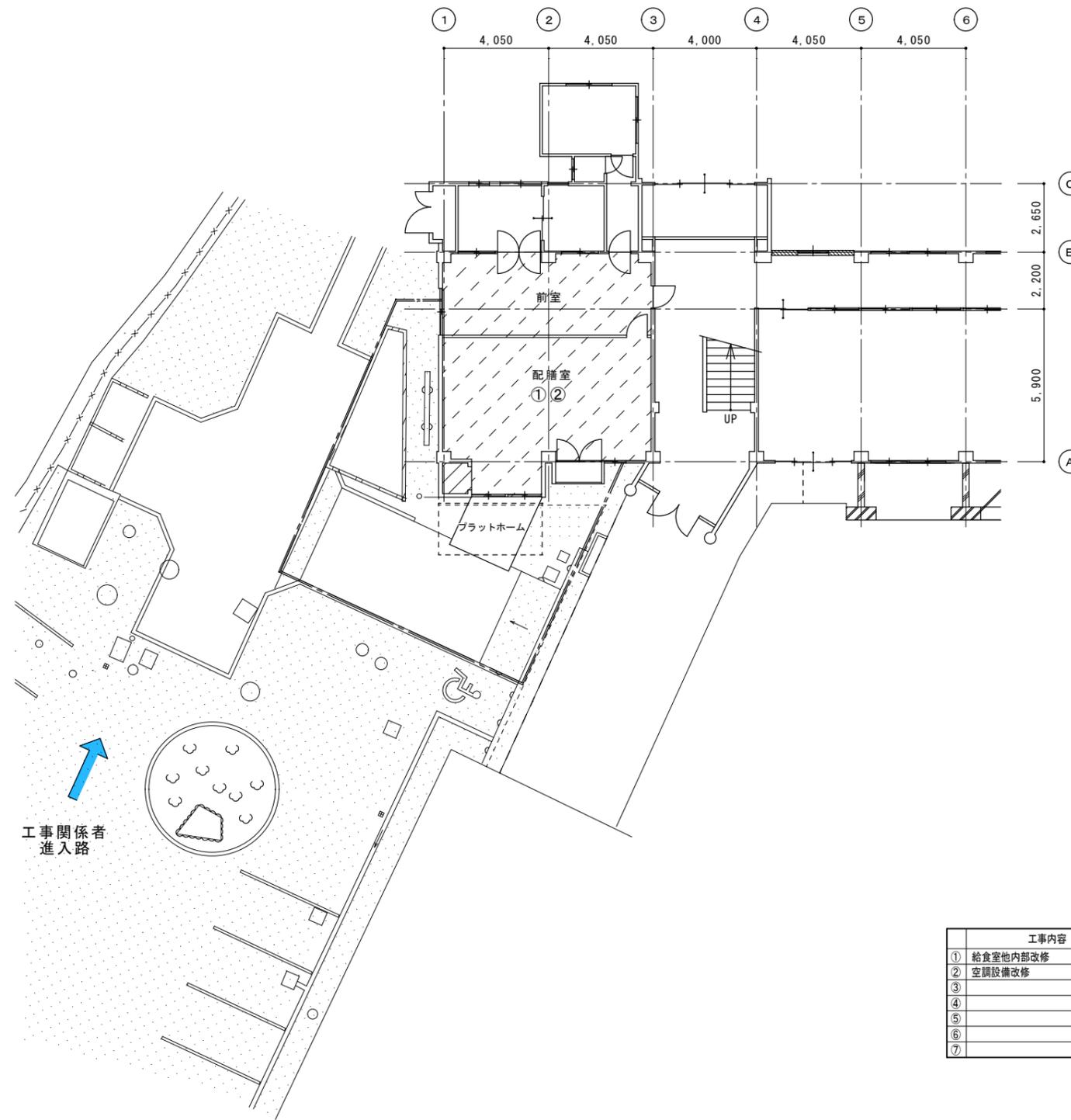
※記載なき備品等の撤去は別途とする。

| NO | 品名 | 数 | サイズ | | | 特記事項 |
|----|--------------|---|------|-----|------|-----------|
| | | | W | D | H | |
| ① | 包丁まな板殺菌庫 | 1 | 850 | 600 | 1460 | 撤去 |
| ② | 家庭用冷蔵庫 | 1 | 600 | 580 | 1570 | 撤去 |
| ③ | 食器消毒保管庫 | 1 | 900 | 900 | 1920 | 撤去 |
| ④ | ガステーブル | 1 | 700 | 300 | 130 | 撤去 |
| ⑤ | 回転釜 | 1 | φ950 | - | 890 | 撤去 |
| ⑥ | 回転釜 | 1 | φ950 | - | 890 | 撤去 |
| ⑦ | 回転釜 | 1 | φ850 | - | 850 | 撤去 |
| ⑧ | 洗浄機 | 1 | 1800 | 780 | 1130 | 撤去 |
| ⑨ | 台下冷蔵庫 | 1 | 1500 | 600 | 800 | 撤去 |
| ⑩ | 食器消毒保管庫 | 1 | 540 | 550 | 1900 | 撤去 |
| ⑪ | 食器消毒保管庫 | 1 | 2680 | 560 | 1900 | 撤去 |
| ⑫ | 検食用冷蔵庫 | 1 | 520 | 520 | 1150 | 撤去 |
| ⑬ | 球根皮剥機 | 1 | φ420 | - | 800 | 撤去 |
| ⑭ | 温水ボイラー | 1 | φ800 | - | 2080 | 撤去(付属機械共) |
| ⑮ | 冷蔵庫 | 1 | 750 | 900 | 1950 | 存置 |
| ⑯ | スチームコンベクション | 1 | 890 | 900 | 1610 | 撤去 |
| ⑰ | ガステーブル台 | 1 | 750 | 600 | 650 | 撤去 |
| ⑱ | パイプ架台(キャスト付) | 1 | 650 | 530 | 580 | 撤去 |
| ⑲ | ワゴン(キャスト付) | 1 | 1260 | 800 | 820 | 存置 |
| ⑳ | ワゴン(キャスト付) | 1 | 1050 | 600 | 910 | 移動 |
| ㉑ | 三槽シンク | 1 | 2400 | 900 | 800 | 撤去 |
| ㉒ | 作業台(キャスト付) | 1 | 600 | 600 | 600 | 移動 |
| ㉓ | 四段ラック | 1 | 1500 | 600 | 1800 | 撤去 |
| ㉔ | 一槽シンク(キャスト付) | 1 | 780 | 750 | 670 | 移動 |
| ㉕ | 一槽シンク(キャスト付) | 1 | 900 | 750 | 780 | 移動 |
| ㉖ | 調理台 | 2 | 1800 | 900 | 790 | 存置 |
| ㉗ | 調理台(下部収納庫) | 1 | 1500 | 750 | 650 | 撤去 |
| ㉘ | 作業台 | 1 | 600 | 450 | 680 | 撤去 |
| ㉙ | パイプ架台(キャスト付) | 1 | 540 | 400 | 480 | 撤去 |
| ㉚ | 冷凍冷蔵庫 | 1 | 750 | 800 | 1900 | 移動 |
| ㉛ | 二槽シンク(作業台付) | 1 | 2450 | 600 | 800 | 撤去 |
| ㉜ | ワゴン(キャスト付) | 1 | 900 | 600 | 800 | 移動 |
| ㉝ | 一槽シンク | 1 | 900 | 600 | 800 | 存置 |
| ㉞ | 棚 | 1 | 750 | 600 | 650 | 撤去 |

※存置機器は工事に支障のない場所に移動し工事完了後復旧すること。

設備配管撤去リスト

| | | | | | |
|--------|--------------|--------|---------|--------------|--------|
| 給水管 | 土中 キャップ止 | 1ヶ所 | 給湯管 | 鋼管 15A | 16.0 m |
| 給水管 | 20A | 30.0 m | 給湯管切断 | 土間コンクリート面 | 1.0 式 |
| カラン類 | 給水 | 1.0 式 | 給湯管 | 壁 キャップ止 | 1.0 式 |
| はつり補修費 | 外部アスファルト補修含む | 1.0 式 | ガス管切断 | 土中 キャップ止 復旧共 | 1.0 式 |
| 給水管切断 | 土間コンクリート面 | 1.0 式 | ガス管 | 壁 キャップ止 | 1.0 式 |
| 給水管 | 壁 キャップ止 | 1.0 式 | ガス管 | 20A | 15.0 m |
| 保温材 | 給水 | 1.0 式 | コック・バルブ | | 1.0 式 |
| 給湯管 | 鋼管 20A | 5.0 m | はつり補修費 | コンクリート | 1.0 式 |
| 給湯管 | 鋼管 20A | 10.0 m | | | |



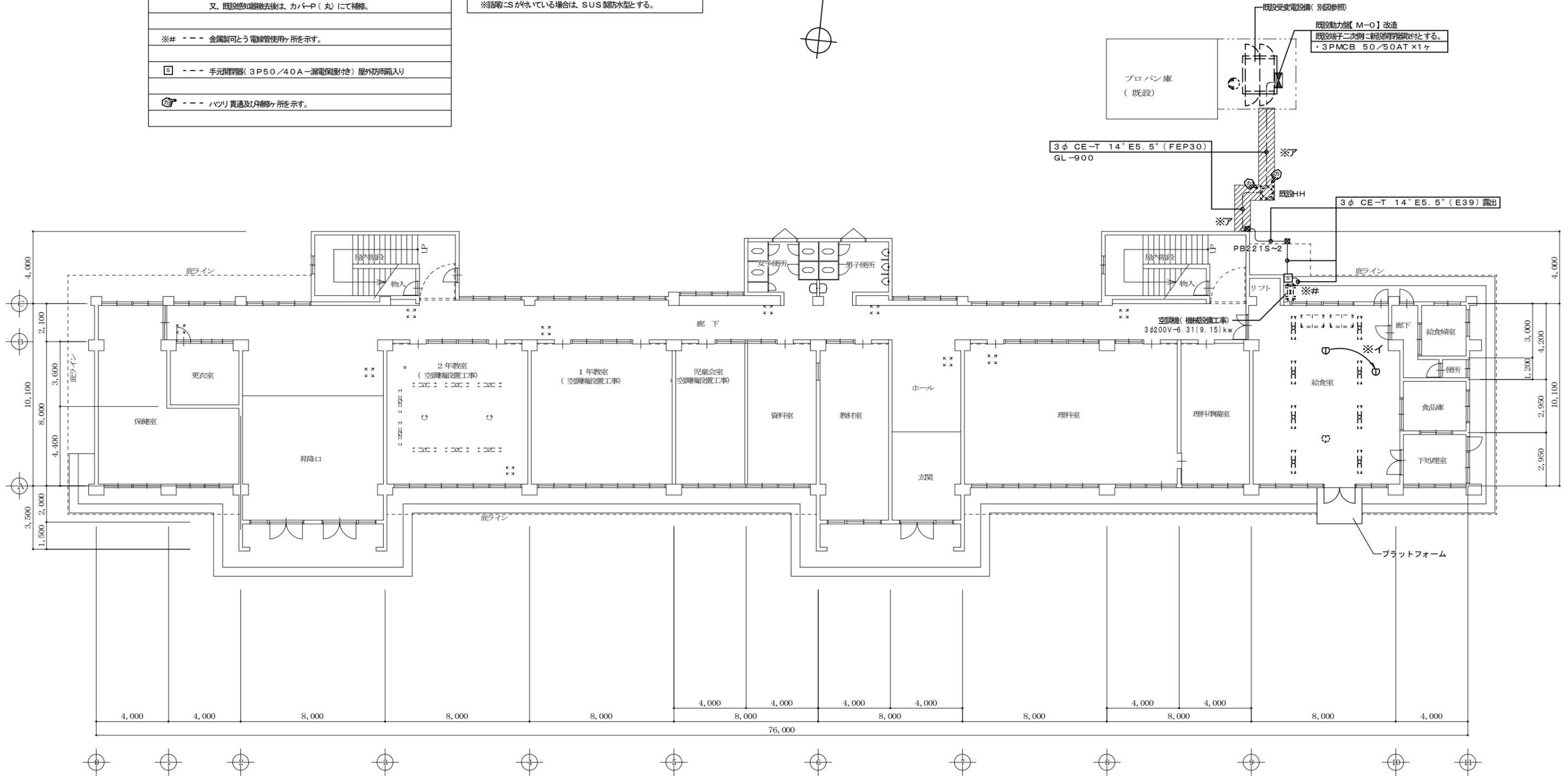
| 工事内容 凡例 | |
|---------|----------|
| ① | 給食室他内部改修 |
| ② | 空調設備改修 |
| ③ | |
| ④ | |
| ⑤ | |
| ⑥ | |
| ⑦ | |

| 凡例 | |
|----|------------------|
| | 屋内施工範囲を示す |
| | 単管バリケードを示す 35.8m |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

仮設計画図 (2020年春休み) S = 1 / 150

| | |
|----|--|
| ※ア | --- アスファルト/ハツリ及び片補修(カッター切り含む) |
| ※イ | --- 既設感知器の移設を行うこと。延長ケーブルは、AE1.2-4Cを使用。 又、既設感知器撤去後は、カバーP(丸)にて補修。 |
| ※# | --- 金属製可とう電線管使用ヶ所を示す。 |
| S | --- 手元開閉器(3P50/40A-漏電保護付き)屋外防雨箱入り |
| ② | --- ハツリ貫通及び片補修ヶ所を示す。 |

| 記号 | ブールボックス寸法 |
|----------------------------|-------------|
| FE221 | 200×200×100 |
| ※器尾にSが付いている場合は、SUS製防水型とする。 | |



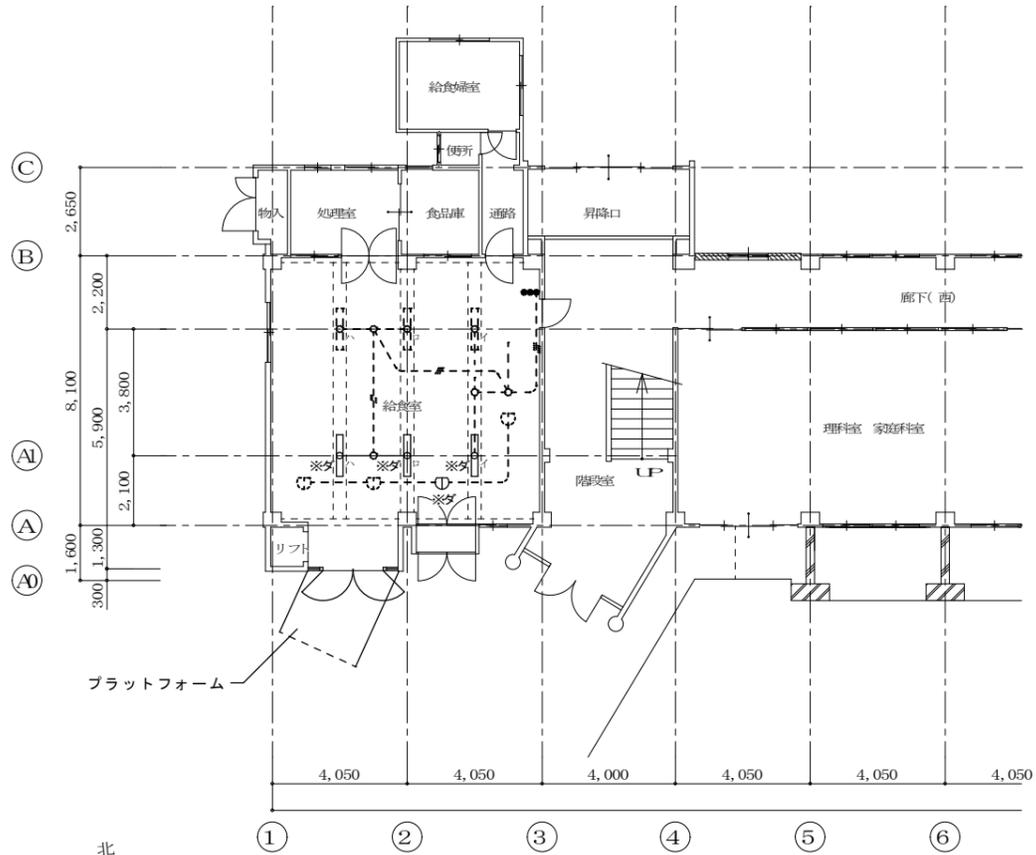
1階平面図 1/150

| | | | | | | | |
|------|------|----|-------|----|---|------|---------------------|
| 特記事項 | 変更事項 | 日付 | 19.11 | 名称 | 依那古・神戸小学校 新給食センター配送校給食室改修工事(令和2年春工事) | 図面番号 | E-02 |
| | | 検閲 | | 図名 | 電気設備図(依那古小学校) | 縮尺 | A3版 縮小 A2版 1/150 |
| | | 描出 | | | | | 捺印 |
| | | 日付 | | | | | |

注1. 図中に示す既設器具(太線のみ)の撤去を行うこと。
(点線にて示す器具等は流用とする)

| | | |
|-------|----------------|-----------|
| □ | 照明器具(FL-40W×2) | 露出型 |
| ● ~ ■ | スイッチ(埋込型) | 1P15A×1~6 |
| ⊖ | 差動式スポット型感知器 | 2種 |
| ⊕ | " " | 1種(防水型) |
| — | 1V1.6×2(19)露出 | |

※ダ --- 既設機器の脱着を行うこと。



1階平面図(現況) 1/150

改修

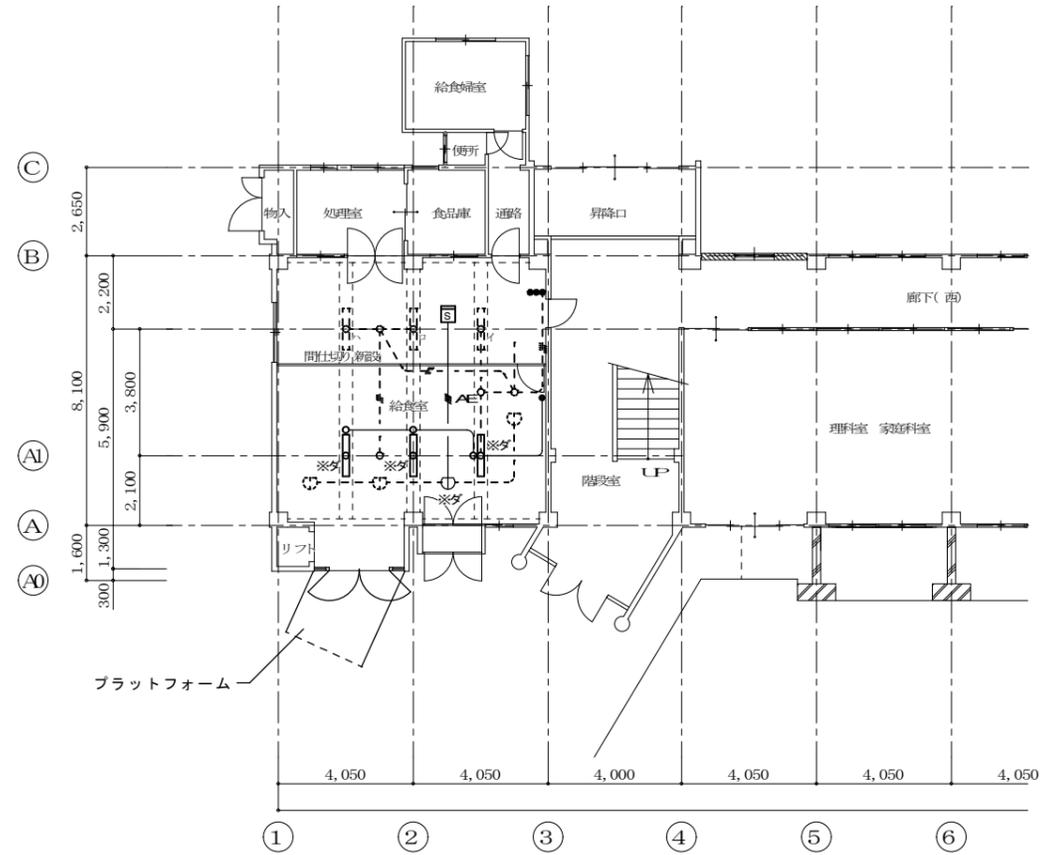
注1. 図中に示す太線の器具、配管、配線の新設を行うこと。

注2. 配線図中補記なき配管配線は下記とする。

| | | |
|---|-----------------|--------------------------|
| — | EEF 2.0-2C | (E19)露出 |
| — | " 2.0-3C(1C=E3) | (E19)露出 |
| — | " 1.6-2C | (E19)露出 |
| — | " 1.6-3C(1C=E3) | (E19)露出 |
| — | " 1.6-3C | (E19)露出 |
| — | AE 1.2-4C | (E19)露出 |
| — | M | 露出ケーブル部分の保護(メタルモールジングA型) |

| | | |
|-------|----------------|-----------|
| □P | カバープレート(新金属) | |
| □ | 照明器具(FL-40W×2) | 露出型 |
| ● ~ ■ | スイッチ(埋込型) | 1P15A×1~6 |
| ⊖ | 差動式スポット型感知器 | 2種 |
| ⊕ | " " | 1種(防水型) |
| ⊖ | 煙式スポット型感知器 | 2種 |

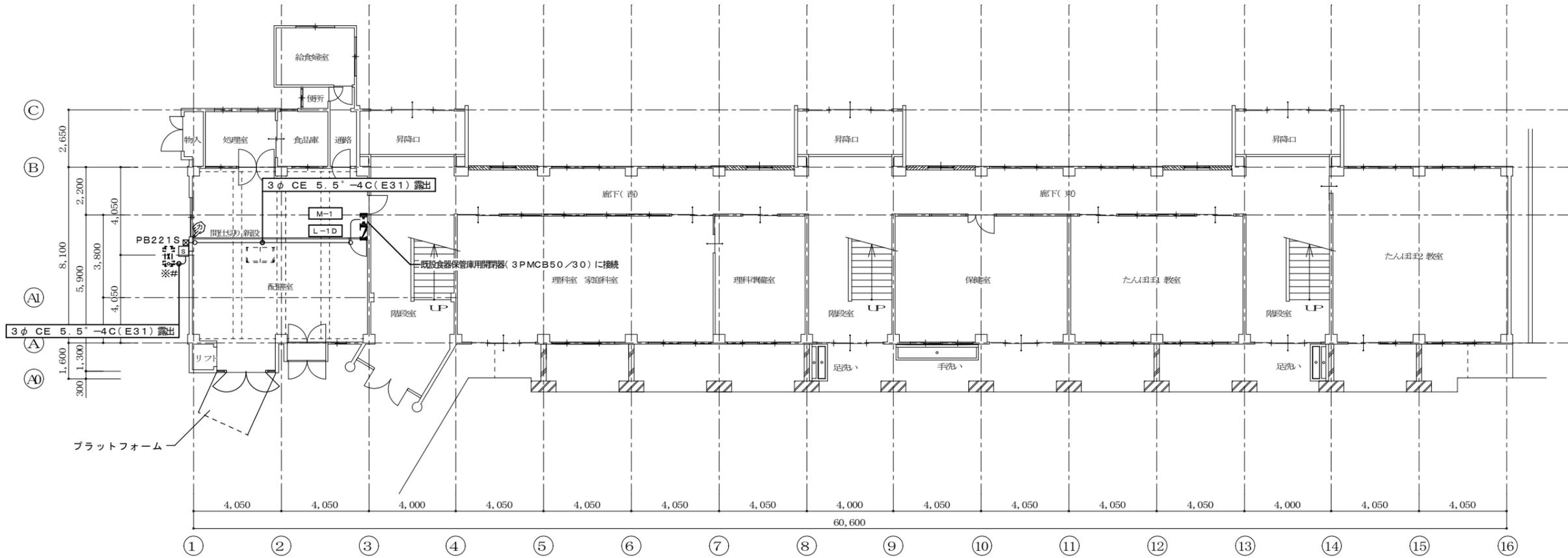
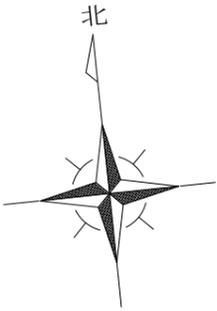
※ダ --- 既設機器の再取付を行うこと。
※イ --- 既設感知器の移設を行うこと。延長ケーブルは、AE1.2-4Cを使用。又、既設感知器撤去後は、カバーP(丸)にて補修。



1階平面図(改修後) 1/150

| | |
|----|-------------------------------|
| ※# | 金属製可とう電線管使用ヶ所を示す。 |
| □ | 手元開閉器(3P30/30A-漏電保護付き)屋外防雨箱入り |
| Ⓜ | ハツリ貫通及び補修ヶ所を示す。 |

| | |
|----------------------------|-------------|
| 記号 | プールボックス寸法 |
| FB221 | 200×200×100 |
| ※括弧にSが付いている場合は、SUS製防水型とする。 | |



1階平面図 1/150

| | | | | | | | |
|------|------|----|-------|----|---|------|---------------------|
| 特記事項 | 変更事項 | 日付 | 19.11 | 名称 | 依那古・神戸小学校 新給食センター配送校給食室改修工事(令和2年春工事) | 図面番号 | E-04 |
| | | 棟図 | | 図名 | 動力設備図(神戸小学校) | 縮尺 | A3版 縮小 A2版 1/150 |
| | | 指図 | | | | | 捺印 |

空調機器表

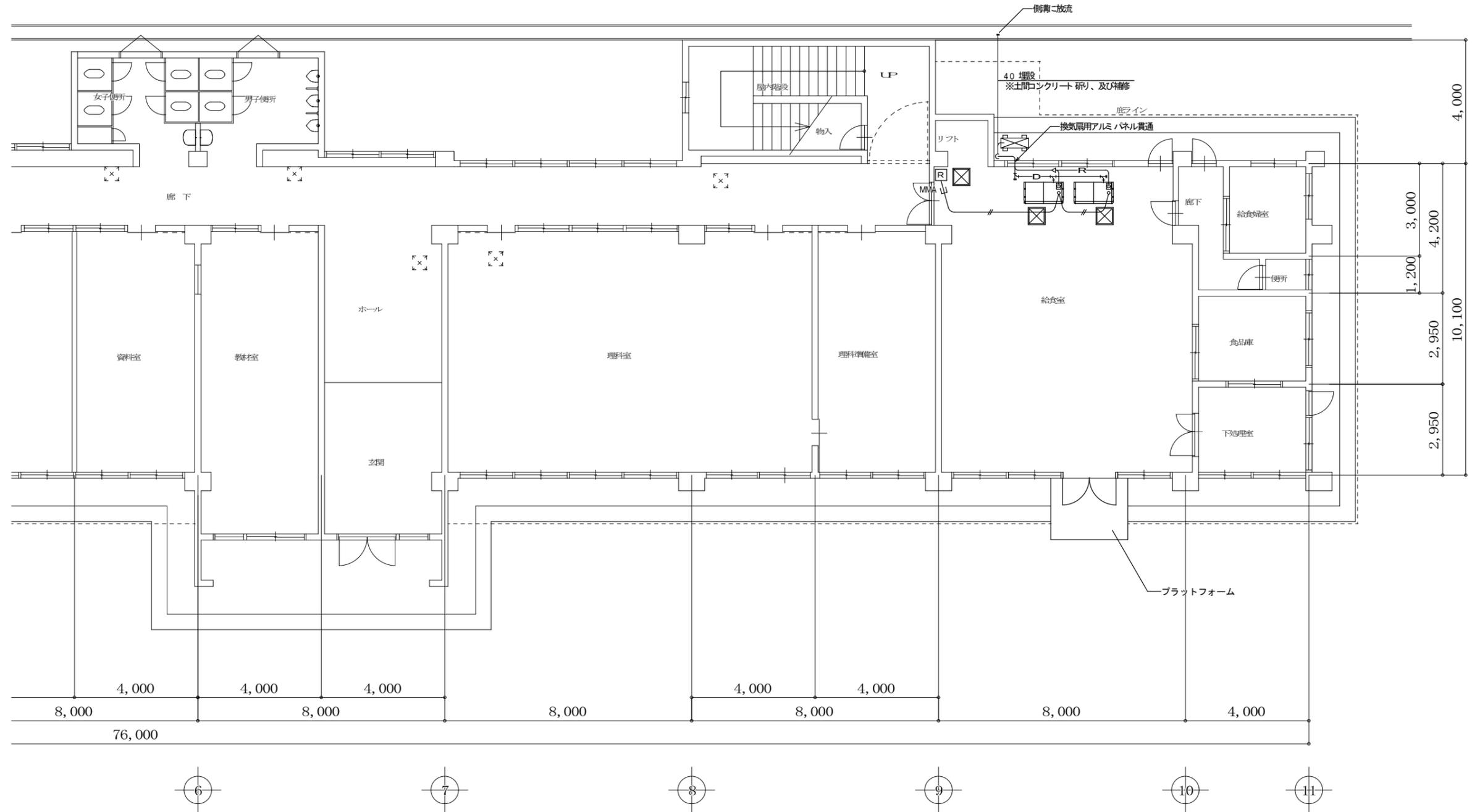
| 記号 | 機器名 (参考型番) | 機器仕様 | 電気容量 | | 台数 | 設置場所 | 外機配線 | | 備考 (参考寸法・重量) | | |
|----------|------------------|---------------|---------------------|----------|--------|------|-------|------|----------------------------|--------|---------------------------|
| | | | 電源 | 消費電力(kw) | | | 20m以下 | ブレーカ | | | |
| PAC 1 | 空冷トポ式 | 形式 | 天井吊形(ツイン) | 3φ | 1 | | 14.0 | 40A | 内機=H235*W1586*D690-37kg-2台 | | |
| | パッケージエアコン | 冷房能力 | 20.0 (4.6~22.4) kw | -200V | | | | | 冷房 | 6.31 | 外機=H1550*W1010*D370-141kg |
| | ワイヤードリモコンスイッチタイプ | 暖房能力 | 22.4 (4.6~28.0) kw | | | | | | 暖房 | 5.56 | |
| | (ACSB22437M) | 冷媒配管 | 液側 9.5φ ガス管 15.9φ×2 | | | | | | 低温暖房 | 9.15 | ※室外機は、防護ネット(前・後・側面)付き |
| | | | 液側 9.5φ ガス管 25.4φ | | | | | | 定格電流 | 19.4 A | |
| | APF | 5.8 | | 最大電流 | 27.0 A | | | | | | |
| | 付属品 | ワイヤードリモコン、他一式 | | | | | | | | | |

注記

- *1. 省エネ基準値(グリーン購入法)に適合のこと。
- *2. 室外機-室内機間の2次配線(EEF2.0-3C)は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。
- *3. 電源容量値は参考とする。
- *4. 運転特性、能力はJIS条件による。
- *5. 室外機、転倒防止支持金具取付のこと
- *6. 断熱材被覆銅管 原管はJIS H3300による。保温厚はガス管20mm、液管10mm(10φ以下は8mm)とする。
- *7. 室外機の基礎 1階は、コンクリート製(タイガーベース)+防振ゴム板敷。2階、3階は、樹脂製ベース+防振ゴム板敷を使用。
- *8. 高調波対策が必要な機器は対策を講ずること。

凡例

| | |
|-----|------------------------|
| —R— | 冷媒配管 |
| —D— | ドレン管 40φ露出 |
| —#— | AE1.2-2C(コログシ) |
| —E— | 立ち下げ露出配線の保護(MMA) |
| [R] | ワイヤードリモコン(メタルモール用BOX共) |
| [X] | 新設天井点検口(450×450)+開口補強共 |



1階平面図 1/100

| | | | | | | | |
|------|------|-----|-------|----|---|------|------|
| 特記事項 | 変更事項 | 日付 | 19.11 | 名称 | 依那古・神戸小学校 新給食センター配送校給食室改修工事(令和2年春工事) | 図面番号 | M-02 |
| | | 縮尺 | | 縮尺 | A3版 縮小 A2版 1/100 | 検印 | |
| | | 担当者 | | 図名 | 空調設備図(依那古小学校) | | |

空調機器表

| 記号 | 機器名 (参考型番) | 機器仕様 | 電気容量 | | 台数 | 設置場所 | 外機配線 | | 備考 (参考寸法・重量) | | |
|----------|-----------------|--------------|----------------------|----------|------|--------|-------|-------|-------------------------|--------|--------------------------|
| | | | 電源 | 消費電力(kw) | | | 20m以下 | ブレーカー | | | |
| PAC 1 | 空冷ヒートポンプ式 | 形式 | 天井吊形 | 3φ | 1 | | 5.5 | 30A | 内機=H235*W1586*D690-37kg | | |
| | パッケージエアコン | 冷房能力 | 10.0 (3.1~11.2) kw | -200V | | | | | 冷房 | 3.05 | 外機=H1050*W1010*D370-76kg |
| | ワイヤードリコンスイッチタイプ | 暖房能力 | 11.2 (2.4~12.5) kw | | | | | | 暖房 | 2.75 | |
| | (RCSA11233M) | 冷媒配管 | 液側 9.5φ ガス管 15.9φ | | | | | | 低温暖房 | 4.17 | ※室外機は、防護ネット(前・後・側面)付き |
| | | APF | 5.7 | | | | | | 定格電流 | 9.47 A | |
| | 付属品 | ワイヤードリコン、他一式 | | | 最大電流 | 21.2 A | | | | | |

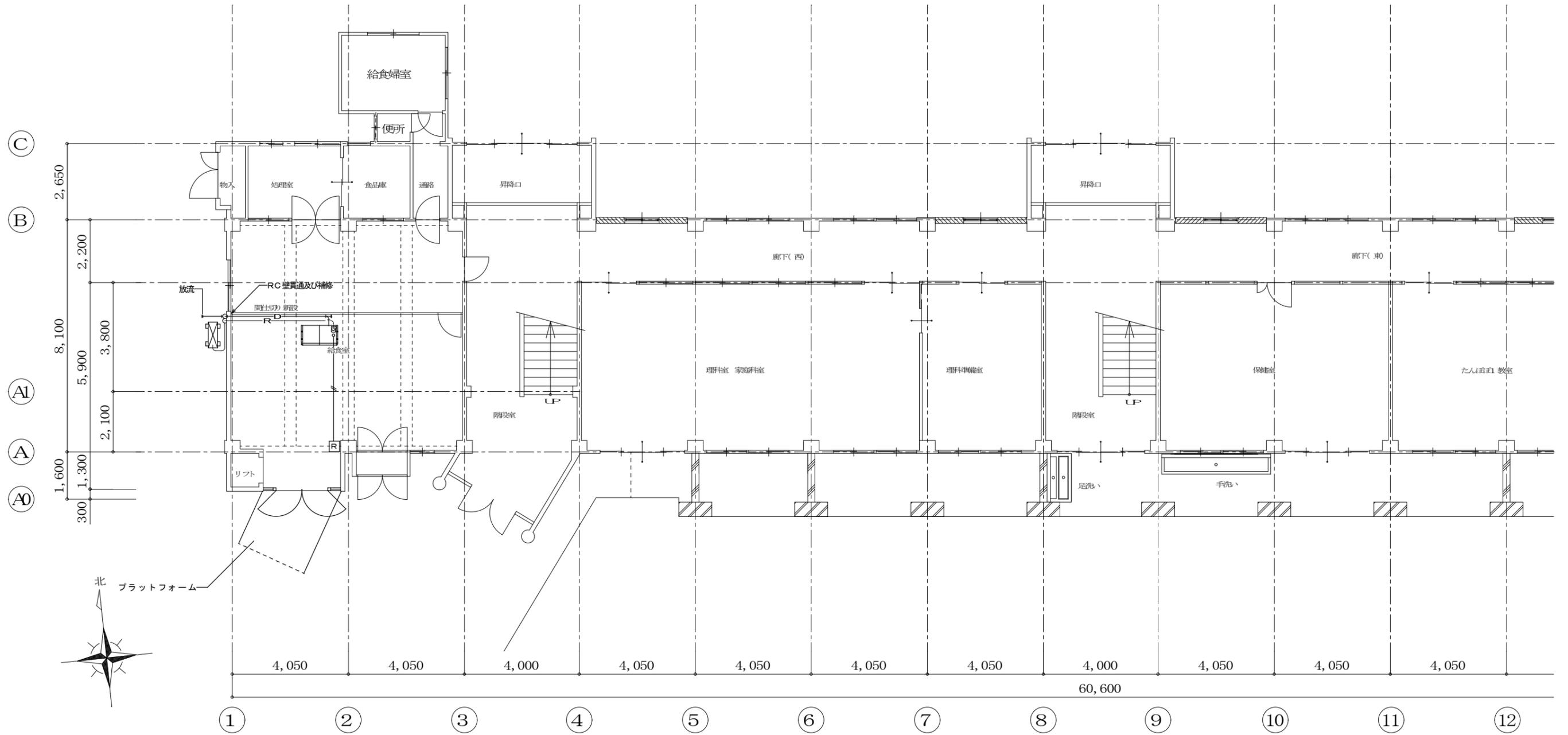
注記

- *1. 省エネ基準値(グリーン購入法)に適合のこと。
- *2. 室外機-室内機間の2次側配線(EEF2.0-3C)は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。
- *3. 電源容量値は参考とする。
- *4. 運転特性、能力はJIS条件による。
- *5. 室外機: 転倒防止支持金具取付のこと

- *6. 断熱材被覆銅管 原管はJIS H3300による。保温厚はガス管20mm、液管10mm(10φ以下は8mm)とする。
- *7. 室外機の基礎: 1階は、コンクリート製(タイガーベース)+防振ゴム板敷

凡例

| | |
|-----|------------------------|
| —R— | 冷媒配管 |
| —D— | ドレン管 40φ露出 |
| —#— | AE1.2-2C(19)露出 |
| [R] | ワイヤードリコン(メタルモール用BOX 共) |



1階平面図 1/100